



明

柔

83, F

明治大学柔道部明柔会会報

明治大学校歌

(一) 白雲なびく駿河台 眉秀でたる若人が

撞くや時代の曉の鐘 文化的潮みちびきて

遂げし維新の榮になふ 明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

(二) 権利自由の搖籃の 歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり 獨立自治の旗翳し

高き理想の道を行く 我等が健児の意氣をば知るや

我等が健児の意氣をば知るや

(三) 靈峰不二を仰ぎつゝ 刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく 正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

柔道部部歌

きいてみたかよ 明大の柔道部

よいよい あらよい こらよい

よいやの よいよい

轟く 選手のその名を

知るや よいよい

あらよい こらよい

よいやの よいよい



明大柔道の技 (2)

渡辺政雄の大内刈

(本文36P)

全日本学生体重別選手権大会

明柔 <明治大学柔道部明柔会会報> 目次

| | |
|--------------------|----|
| 明大柔道部の技（2）渡辺政雄の大内刈 | 1 |
| 全日本学生体重別選手権大会 | 2 |
| 巻頭言 類は友を呼ぶ | 5 |
| 新人諸君に寄す | 6 |
| 新入部員紹介 | 8 |
| 「監督から」 | 10 |
| 大会後評 | 12 |
| 奮起を望む | 14 |
| 曾根康治氏追悼会 | 16 |
| 新入生歓迎会と選手権出場者激励会 | 16 |
| マネージャーから | 17 |
| 記録 全日本選手権大会と明柔 | 18 |
| OB便り 愛知明柔会 | 23 |
| 36年度卒同期会 | 24 |
| 家族同伴同期会 | 25 |
| 「くにびき国体を終えて」 | 27 |
| ブラジルから | 29 |
| 出発に際して | 31 |
| 卒業式を終えて | 31 |
| 下町明柔会新人歓迎夕食会 | 32 |
| 会員消息 | 32 |
| 明柔会親善ゴルフ大会 | 33 |
| 思い出の一枚 | 34 |
| 明大の技（2） | 36 |
| 隨筆 私の修業の頃 | 37 |
| 思い出すこと | 38 |
| 第二道場 | 40 |
| 学生時代の思い出 | 41 |
| 酒場にて | 43 |

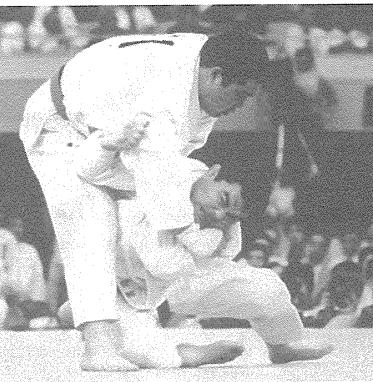
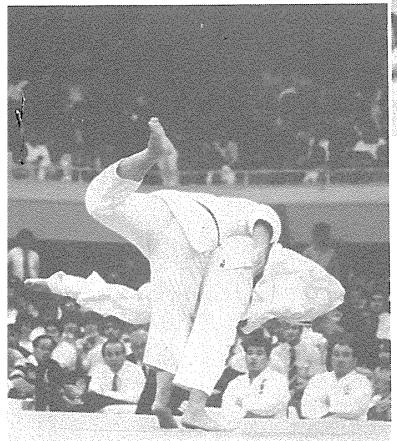


65K級3位 今堀浩之

86K級優勝 朝飛 大

86K級2位 中村正浩

全日本 選手権大会 諏訪準々決勝



諏訪 — 伊藤



藤原 松井

世界選手権大会
ジユニア
86K級代表 長谷川敦



巻頭言

類は友を呼ぶ

百瀬恵夫

「類をもって集る」とか「類は友を呼ぶ」という諺がある。趣味や性格の同じ類のものが集り合って友人となるという意味であるが、味わいのある言葉である。よく似通った者同志が自然に集まるのは、人間の生態（エコロジー）でもある。相互に同化し合いながら類の性格をえていくこともある。他人を感化して自分と同じようにしたり、他人に感化されていつのまにか自分が他人に同化していることもある。

類の良いものには良い集団ができる。類の悪いものには悪い集団ができる。だから良き友を得ることは、良き類の仲間入りをすることになるので、友を選べという論理になる。しかし、われわれは、よく「あいつは俺の悪友で……」ということばを聞いたりまた使ったりもする。この場合の言葉のもつニュアンスは、良友以上の友であり親愛の情深からぬものがある。親友というものは良友と同じ意味で理解されているが、眞の親友は「あいつは俺の悪友」という中に見い出されるようと思う。

優等生的な人間は類をつくることができないし、類への仲間入りもへたなタイプの人間が多いようである。悪友という言葉

は「相手を悪い方へ導く好ましくない友だち」と辞書は解く。しかし、悪友というのは、そんなに悪いのだろうか。自分が友

に導かれたのには、その人間に何か魅力があつたに違いない。その結果が善か悪かによって良友とか悪友とかいうのは、基本

的に間違っている。同じ評価を相手もしているのである。

人間が生まれてから死ぬまで善のみを教えられ、すべてそれに従つて生きたとすれば、悪の意味すらわからないであろう。反対の場合もそうである。人間が善悪の区別がつけられるのはその判断力があるからである。判断力のすばらしい集団は、魅力に富んでいる。趣味でもスポーツでも研究でもどんなグループ（類）の人間でもよい。判断力はルールや法律にもとづいて人間性そのものから生まれる。倫理観や道徳観が人間の行動規範として重視されるのはそのためである。

私は、類はいかなる類であっても良いと思う。しかし、友（仲間）としての規準は

判断力の豊かなスケールの大きい人間集団であつてほしいと思う。そして、できるだけ多くの類に属することができれば、それだけ人生が豊かになるだろう。

| | | |
|-------------|-------|----|
| 台北回憶 | 西村良之 | 44 |
| 警察の表芸「柔道」 | 江川真司 | 46 |
| 柔道部に在籍して | 山内铁生 | 47 |
| 明柔人国記 福岡県の巻 | | 48 |
| 文集 わが青春の駿河台 | | |
| 若き明大柔道マンに贈る | 渡辺慶助 | 52 |
| 思い出の柔道部 | 高橋康 | 57 |
| 往事の思い出 | 石橋弥一郎 | 63 |
| 得意技の解説 背負投 | 須磨周司 | 66 |
| 計報通知 | | 69 |
| 明柔会事務局報告 | | 70 |
| 住所変更 | | 72 |
| 編集後記 | | 73 |

新人諸君に寄す

神永昭夫

この度はご入学おめでとうございます。難関を無事突破し伝統ある柔道部に入部されたことを心から歓迎し、衷心よりお祝い申し上げます。

我が柔道部は、創部70余年の古い歴史と伝統を誇ると共に、その間実社会に柔道界に錚々たる人材を送り出し、内外に明大柔道部ありと評価されている柔道の名門であります。

しかしここ数年来低迷を続け、一部に明治は遠くなりけりという風評も時々耳にしますが、柔道部長に百瀬恵大教授、明柔会長兼柔道師範に姿筋雄先生、篠谷政利監督、上村春樹助監督のメンバー構成のもとに捲土重来を期し、全日本学生大会優勝を含言葉に、連日目標に向って鋭意努力中である。先輩として新入部員に望むことは、第一に健康に留意し、一日も早く環境に慣れることであります。兎角生活環境が変わると、精神的にも肉体的にも緊張の連続で、今迄と違った疲労が蓄積され、思わず我とが病気になり勝ちである。無事これ名馬の轍どおり、無事これ名選手であります。自ら積極的に



し、翌日の目標を設定することである。

このことの連続が非常に効果があったような気がする。

目的もなく監督、コーチから指導されて受身の練習をする場合と、自ら目的をもって練習するのとでは、内容的にも精神面に於いても、結果は雲泥の差がついてくる。

スポーツでも学問でも、自ら興味のあるものは自然と熱入り、自ら進んでやろうとする意欲が湧いてくる。自らやる気を起したときは、苦労も、又厳しいトレーニングも、あまり気にならないものである。

如何にしたらやる気が起きるのか、これは指導者にとっても永遠の課題であるが、しかし、このことは本人の自覚に待つ以外に方法はないであろう。諸君がそれを自覚した時、次の段階の飛躍が待っているということを忘れないでもらいたい。

第三としては、基本を大切にすることである。基本動作を十分体得せずに次のステップに挑戦しても向上はしないし、又無理に行つた場合、階級を一気に四段も五段も駆け昇るのと同じで、怪我のもとなるだけである。

早く上達を心懸ける人程、基本に十分時間をかけて努力することが大切なのである。

しかし、基本は単純な動作の繰り返しが多く、つい力を抜いたり、馬鹿鹿しくなって途中で止めたりしがちであるが、この単純な動作と反復練習することによって、基礎体力が養成され、応用変化に対応できる動作が身につくのである。

「急がば廻れ」と昔から言われているように、基本こそ廻

に環境に馴染むよう努力して頂きたいと思います。

私の体験から申しますと、最初の三ヶ月間は非常に苦しく辛かった時期があつたが、この期間を乗り切つて夏休みを迎えると、精神的にも肉体的にも非常に楽になつたことを記憶している。気安い同期の友達も出来、上級生の気心も判るようになれば、精神的に可なり余裕が出来る筈です。

この三ヶ月間を如何に乗り切るか。同期生仲間と話し合い、助け合つて、お互いにスクランムを組んでは非乗り切つて欲しいと思います。

第二としては、人生に目標があるよう、柔道に於いても

はっきりとした目標をもつことである。

目標を定め、その目的に向つて計画をつくり、その計画を実行すること。ともすると計画を自分の力よりも高いレベルに設定したまゝ、つい頓挫するケースが多いようである。要は、自分自身の能力と限界を十分心得て計画を練り、実行することが大切である。それが結果的に永続する「コツ」ではないだろうか。

私が今日迄実行して来た中で非常に効果のあったことを紹介すると、……

毎日練習する場合、その日の目的をはっきり持つこと、そしてその目的を必ず実行することが肝心である。又実行した内容を五分でも三分間でもよいか、その日の内に必ず反省ではないだろうか。

り道であり、そして実は近道なのである。廻り道(苦労)をして近道を知つた方が、悪条件の中でも平素の力を十分發揮することができるのである。

第四としては、創意と工夫である。研究心のない所に進歩発展はないように、只がむしやらに練習するだけでは能がない。勿論練習量が豊富であることは絶対に必要なことではあるが、これにプラス技術に対する研究と工夫が不可欠の要素である。従つて技も人によつて違つてくる。しかし、技の基本性技は人それぞれ顔形が異なるよう、その人獨得の個性がある。従つて技も人によつて違つてくる。しかし、技の基本性技は人それぞれ顔形が異なるよう、その人獨得の個性がある。従つて技も人によつて違つてくる。しかし、技の基本性技は人それぞれ顔形が異なるよう、その人獨得の個性がある。従つて技も人によつて違つてくる。しかし、技の基本性技は人それぞれ顔形が異なるよう、その人獨得の個性がある。従つて技も人によつて違つてくる。しかし、技の基本性技は人それぞれ顔形が異なるよう、その人獨得の個性がある。最後に望むことは、大きな希望と夢をもつ生まれられた新入生諸君、玉も磨かなければ只の石ころである。いろんな角度から玉を磨き、光彩を放つ珠玉には是非なつて欲しい。この思いは私一人だけではなく、明柔会OB全員の切なる願いでもある。

学生生活を通じて、常に遠大な目的を持って國家社会に有用の人材になろうと心懸け、艱難に堪え、不自由に甘んずる

鞏固な意志を養うこと、又如何なる境遇に在っても自暴せず、自棄せず、沈着にして必ず所期の高速の目的を達する人物をつくりたいというのが、明大柔道部の指導方針である。

学生である以上は学生としての生活もあり、学問を修めることは当然のことであるが、それにプラス柔道部としての激しい練習も課せられるわけで、苦しいこともいろいろあると思うが、諸君達の先輩はその試練に耐えて、今日の基礎をつくって来たのである。又、このような厳しい鍛錬によって初めて、心・技・体が充実し、立派な社会人としての人格が形成されるのである。今日の辛苦が、明日の糧となることを忘れないで、毎日の練習を充実したものにしてもらいたいと思う。

伝統は只引き継ぐだけでは進歩も意義もない。長所を伸ばし、短所を補って発展させてこそ、伝統を守ることである。

心氣発刺とした新入部員諸君、初心を忘れず、飽くなき探求心と他校に負けない練習量によって、柔道部をますますの隆盛と人間形成を目指して、尚一層の努力をお願いしたい。これから送る学生生活が、愈々充実し、明治大学に入つて良かった、柔道部に入つて良かったと思うような人生を是非歩んで頂きたい。

又、学生として、柔道部員として、多くの人達のふれあいの中から、或いは合宿生活や厳しい練習で体験する課程を通じて、今後の人生のバックボーンとなる何かを把んで頂きたるものである。



①山口宏明 ②政経学部経済学科 ③広島県佐伯郡 ④崇徳高校 ⑤176cm 80kg ⑥左、大外刈



①新垣 修 ②文学部文学科 ③沖縄県 ④沖縄高校 ⑤178 cm 88kg ⑥右内股



①秀島 裕 ②政経学部政治学科 ③宮城県仙台市 ④東北高校 ⑤181cm 130kg ⑥左、大外刈



①松本巳智 ②文学部英米学科 ③千葉県君津市 ④明大中野高校 ⑤178cm 110kg ⑥右、大外刈



①岩永昭浩 ②法學部法律学科 ③千葉県君津市 ④木更津中央高校 ⑤178cm 120kg ⑥右、休落



①竹林孝行 ②政経学部経済学科 ③北海道山越郡 ④札幌第一高校 ⑤177cm 95kg ⑥右、大外刈



①長谷川敦 ②政経学部政治学科 ③神奈川県横浜市 ④天理高校 ⑤172cm 86kg ⑥右、一本背負 大外刈



①岩崎慶治 ②政経学部経済学科 ③千葉県市川市 ④千葉商大附属高校 ⑤173cm 75kg ⑥左、背負 大内刈



①熊谷好昭 ②農学部農業経済学科 ③宮城県加美郡 ④東北高校 ⑤168cm 84kg ⑥左、内股、一本背負



①山口宏明 ②政経学部経済学科 ③広島県佐伯郡 ④崇徳高校 ⑤176cm 80kg ⑥左、大外刈



①新垣 修 ②文学部文学科 ③沖縄県 ④沖縄高校 ⑤178 cm 88kg ⑥右内股



①秀島 裕 ②政経学部政治学科 ③宮城県仙台市 ④東北高校 ⑤181cm 130kg ⑥左、大外刈



①松本巳智 ②文学部英米学科 ③千葉県君津市 ④明大中野高校 ⑤178cm 110kg ⑥右、大外刈



①岩永昭浩 ②法學部法律学科 ③千葉県君津市 ④木更津中央高校 ⑤178cm 120kg ⑥右、休落



①竹林孝行 ②政経学部経済学科 ③北海道山越郡 ④札幌第一高校 ⑤177cm 95kg ⑥右、大外刈



①長谷川敦 ②政経学部政治学科 ③神奈川県横浜市 ④天理高校 ⑤172cm 86kg ⑥右、一本背負 大外刈



①岩崎慶治 ②政経学部経済学科 ③千葉県市川市 ④千葉商大附属高校 ⑤173cm 75kg ⑥左、背負 大内刈



①熊谷好昭 ②農学部農業経済学科 ③宮城県加美郡 ④東北高校 ⑤168cm 84kg ⑥左、内股、一本背負

(三三年度 新日本製鉄)

新 入 部 員 紹 介

| | | |
|--------|---|----------|
| ①氏 | 名 | 高 校 |
| ②学 | 部 | ④出 身 高 校 |
| ③出 身 地 | | ⑤身長・体重 |
| | | ⑥得 意 技 |



①古賀英之 ②経営学部経営学科 ③佐賀県佐賀市 ④小城高校 ⑤180cm 100kg ⑥右、払腰、大外刈



①滝口 悟 ②文学部文学科 ③東京都府中市 ④明大中野高校 ⑤188cm 135kg ⑥右、右払腰



①松田信久 ②文学部文学科 ③広島県広島市 ④崇徳高校 ⑤163cm 65kg ⑥右、大内刈、背負

「監督から」



東京都柔道選手権大会 3・27

(-) 78 kg 中村 正浩

(2位) ○ 従四方 落

(-) 86 kg 長谷川 敦 ○ 体 角 紋 負

(-) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 小田 嘉喜 ○ 体 落 村田 正夫

(+) 95 kg 斎藤 峰章 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 小田 嘉喜 ○ 体 落 村田 正夫

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 小田 嘉喜 ○ 体 落 村田 正夫

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

(+) 95 kg 熊谷 雅之 ○ 体 落 古賀 智 ○ けさ 固 古谷 和宏 ○ 体 落 安藤 清二

大会後評

助監督 上村春樹

今回の全日本学生体重別選手権大会を振り返してみると、今まで実力はありながら試合で発揮できないといった精神面にあまさがあつたが、今回は勝負に対する執念がうかがえ、常に先手先手と積極的に攻め、最後まで試合の主導権をとりつけるといつた積極柔道に徹したことが勝因となった。朝飛は、この優勝で精神的になかぶきれたよう感があり、今後の成長がたのしみであるが、まだ熟練的な部分が多く、得意技の確立、連続技の修得を早急に図ついかなければならない。

78 kg以下の中村はキャブテンとして自覚もでき、優勝が期待されたが、一昨年に続き決勝でポイントを先取しながら逆転負けをし、又、65 kg以下級で昨年2位、今年3位の今堀も優勝する力を十分もちらりと見せてしまった。勝負に対する精神的あまさが目についた。95 kg超級の古賀、斎藤、95 kg以下級の熊谷は、大型化する重量級選手の中でも上位入賞を目指すにはパワー不足であり、今後計画的な筋力アップトレーニング等を行ない、基礎



若山石油(株)

代表取締役社長
藤井洋二
(32年度卒)

〒746 山口県新南陽市富田4142番地
TEL 0834-62-3176

娯楽の殿堂

みヒヤホール:

水道橋・神田・鶯谷・浅草・三河島・上野

喫茶・パブ・レストラン

山の音

水道橋・鶯谷・浅草

お近くにお居の際は
是非お立ち寄り下さい!!

代表取締役 中野一郎

奮起を望む

金子泰興



これば、ずっと以前に読んだ、剣道界の巨人中山博道氏、昭和三十五年八十八歳で他界の修業の体験談である。剣の道を極めるための修業がいかに血みどろな苦闘精進を要するものであるかの話である。私は非常な感銘を受けて、要点を抜粋して置いたものだが、一読してもらいたいので発表します。

中山博道氏は、明治・大正二代にわたっての剣豪で、日本一の名人だったが、日本一の努力家でもあった。身長一六〇センチにも満たないやせっぱらで、しかも柔力、とても剣道家になれる資質に乏しかった。それを、想像を絶する努力で補われた。一日の睡眠時間は四時間と決めて、他人を寝て間にも鍛錬するといふ

のがある。この神社は、林崎夢想流の始祖林崎甚助を祭ったもので、徳川時代から今まで四百年のあいだ今も郷土に残っている。中山氏は、ここへある念願を抱いて参籠されたことがあった。林崎神社は、前にも云つたような歴史があるので、徳川時代を通じて「居合」の修練を志す人々が非常に多く参籠したそうだ。中山氏は、まず參籠修業の期間を、七日と定め、參籠修業にかかる費用は、食物は白湯と粥のみ、宿泊料は木戸は棍棒らず、不眠不休で、神庭に立ち、刀を抜きつけられるのである。

エーエイット、丹田に精神を集中して、気合もろとも白刃を一颶する。その都度、介添監督が柔道部再建の大任を担うことになった。

二人とも、かつての柔道日本一である。人格指導力とともに申し分なく、まだ就任してから一年を経たに過ぎないが、徐々に強化の実が挙がりつつあるという。二、三年後に待望久しい、学生柔道の王座奪還に、大いに期待が持てそうだ。

大会には明大から、曾根、門屋、赤木、大野、山尾、川辺、石橋等が登場し、圧倒的な強さに銀選手。練習の好きな者はばかりだつたが、あの条件の悪い下での、苛酷ときどき云々る猛練習に耐えたのであります。

昭和二十七年、第一回全日本学生柔道優勝大会に見ゆれた。何流の誰とか、無数にある先輩の修業のあとを見ると――、一夜一万八千刀とか、中には二万刀を超えている人すらあつて、中山氏の持つ、一万一千刀などという程度の記録は、實に、何十人といつていいほ

一となられた人である。

中山博道氏が、ひと通りの剣道を修められてから、居合の必要を覚え、居合の修練に熱中していた若い時代の話である。この記録はおそらく古今未有のものであろうと思われる。自分の金剛モードは勿論のこと、神の加護もあつたからこそ、この精進と共に超然とした記録を擧げることが出来たのであると思われ、満願の朝は、疲れも忘れ、心は得意に満ちて、神前に報告を終り、さて、意氣揚々として、拜殿から起つて、自分の記録をこの額堂に誌して置こうと思われた。

ところが、ふと仰ぐと、そこには徳川時代の武芸者たちの挙げた記録が掲げてある。昔の武芸者たちにも、おそらく自分ほど精進をしたものはあるまい、それ等の奉額をつぶして見てゆかれた。(○)何年、何回の某とか、××幾年、何流の誰とか、無数にある先輩の修業のあとを見ると――、一夜一万八千刀とか、中には二万刀を超えている人すらあつて、中山氏の持つ、一万一千刀などという程度の記録は、實に、何十人といつていいほ

どからにいたのである。

ここに至つて中山氏は、自分の愚かな自己心より、かりそめにも抱いた高慢らしい気持ちが、わざわざに恥かしくなつて、再び神庭の大門へ下りて謝りてしまわれた。——このようない心で、どうして「派の達人となる」とが生きよう。先人の為した修業の跡に対してすら頭を上げることができなかつた。

一人間は誰でも、自分がすこし勤んでいると、おれはこのようにやつている、とすぐ自己満足してしまつところがある。それが何事にも修業の止りになつてしまつ。以来、中山氏は、いつも自分が努力したと自負する心が生ずる時によく、また自分には、云ふうによく自分に言いきかせ、自分に鞭打ちつづつ、やってやつてやり抜かれたそつである。

修業には柔道、剣道の区別はない。徳川時代の武芸者や中山氏の修業と自分の修業とを比較して考えていただきたいものである。日本学生柔道部も、長い低迷が続いている。全然、はや十年の歳月が過ぎた。大衆は浮つぱく、やや年少の英雄の出現を求める気なのだ。このまま推移すれば、かつて

は柔道界の仰ぎ見るような巨大な存在であつたわが明大柔道部も、世間から完全に忘れされてしまつて違ひない。当然の如く、柔道部を強くしよう、という声がOBの間から澎湃として起つて、昨年から篠巻監督、上村助監督が柔道部再建の大任を担うことになった。監督が柔道部再建の大任を担うことになつた二人とも、かつての柔道日本一である。人格指導力とともに申し分なく、まだ就任してから一年を経たに過ぎないが、徐々に強化の実が挙がりつつあるという。二、三年後に待望久しい、学生柔道の王座奪還に、大いに期待が持てそうだ。

学生諸君は、大いに意欲を燃やして欲しい。なんとしても主役は学生諸君である。学生諸君が奮起して推力とならない限り、柔道部の飛躍は望めない。

優勝は、戦つて力で奪い取るもの、力のない者は、勝利の女神は絶対にはほえみはしないのだ。力を養うには猛練習以外にない。いかに多くの汗を流すかということである。

日本一になるには、日本で一番練習を多くやらなければならないのではある。学生諸君は、柔道部生活を送つたのは、最後の、まことに大きな時代だ。このまま推移すれば、かくて下さる。

やらなければいけないのである。私が柔道部生活を送つたのは、やはり年の歳月が過ぎた。當時、学生は浮つぱく、やや年少の英雄の出現を求める気なのだ。このまま推移すれば、かつて

新入生歓迎会と選手権出場者激励会

曾根康治氏
自悼会

四月二十七日 新宿 天龍寺に
おいて、故曾根康治氏の三回忌追
善供養が行われた。遣族まり子夫
人、康雄、康弘をはじめ明栄会
新日然関係者など、一五〇名余り
が参列した。霊前に焼香した。
が故人。法要にひびき渡る、午後六時から
新日鉄新山谷寮にて追悼の宴が開
かれた。会は神水氏の司会ではじ
まり、挨拶に立った。姿先生が、
故人とはじめて会った時のことを
回想しながら、祭壇の遺影にむ
かひ、語りかけるように話し、列
席の人々の胸をうつた。

金子氏の発声上で一同、靈前に献
杯を行つたあと、しばし、故人の
想い出話のひと時をすごした。



マネージャーから

松村栄治

ております。大切に使用したいと思います。
それでは簡単ですが部の近況報告とさせて頂
きます。

(広畠駅にて)

暑さのみぎり、先輩の皆様にはいかがお過
しですか。暑中のお見舞いを申し上げます。

又この紙面をかりて、日頃の御支援に対し、心から御礼申し上げます。春の合宿、新人の

歓迎、又このたびの体重別選手権大会等に寄せて頂きました御心づかいで也有らためて御

礼申し上げます。十二名の新入部員もなれなく、生活と競り、練習で大巾て体重を落す苦

労しておりましたが、この時期にきて漸く生話こらはれ、東習て身が入る様になつてま、

海に浮かぶ、緑豊かな木々の間に、一棟美しい木造の別荘が佇んでいました。運動部における一年生の生活はいざいざの陽台へと登るつづら、アーチ、ジヤ

「わの場合は力變たものですが、アホ」シテ
ーとして出来るだけ不必要的雑事のための時

間の「スをなくし」二年生にならなければ本当の稽古が出来ないという旧弊を破る方向

現在部員の健康状態は良で二年生の野寄の生活指導を行っていくつもりです。

ヒザがやや痛んでいる(快方に向っています)
他は順調です。

明柔会の動助力で購入したビデオコーダーは、道場又、試合場で有効に活用させて頂い

昭和58年度
後期行事予定

全日本選手権大会と明柔

五八年度、全日本柔道選手権大会は、大器山下選手の七連覇で閉幕した。連覇におこることなく、日本柔道の柱として精進を怠らぬ同選手に満腔の敬意を表すものである。この大会に、明大関係から、誠訪^{（藤原の）}兩君が出席し敢闘した。しかし我が明柔より選手権大会への出場者がわざか二名^{（曾根・神永）}といふことは、代表の大半が戦前戦中の選手で占められていた早期の大会を除いて、戦後の部史上ワーストの記録である。

明大柔道が学生柔道のみならず、戦後の日本柔道界になにほどの足跡を残しているものと自負している我々にとって、かかる現

象はまことに痛恨の限りである。この機会に過去三回を数えるこの大会に出場し、活躍した明柔関係二四名の記録を整理し、あえてここに被添することとした。現役で活躍中のO.B.及び学生諸君は、この稿の意図するところを推察され、捲土重来を期して、奮闘努力されんことを祈念するものである。

大会出場第一号は山肩

明大関係者が全日本選手権大会に出場した第一号は、一四年、第二回大会の山肩敏哉である（ハ・名）。翌二五年は出場者がない。二六年は、復員した姿節雄が三四才で山肩と

ともに出場。爾来、五八年の現在まで明大柔道部は、二三四名のO.B.、学生を連続してこの大会に送りこんでいる。（ハ・名）



曾根



神永



坂口



篠巻



上村

三〇年 山肩、石橋^{（）}、金子、曾根、石橋^{（）}
 （学生四年）。初出場は大野忠博、山尾英三、渡辺政樹、河辺一彦。

曾根準決勝進出 石橋^{（）}準々決勝。曾根は準々決勝で優勝候補の伊藤選手を内股でとばし準決勝に進んだが、優勝の吉松選手に僅差の判定で惜敗した。学生の石橋^{（）}は前年に統一の出場であったが、得意の内股で一二回戦を勝ち進んだ。（ハ・名）

三一年 山肩、石橋^{（）}、金子、曾根、渡辺。

金子準々決勝（ハ・名）

曾根 準優勝

大柔道部にとって記念すべき大会となった。前年、決勝戦で涙をのんだ曾根は、結戦が快調にとばし、優勝戦までもたたく間にがなかつた。すなはち、準決勝で小田選手を得意の大外刈で、決勝は山越選手の内股をきれいに返して、それぞれ一本とし、堂室の優勝をとげた。学生で初出場の神永は準々決勝で曾根にやぶれた。

石橋^{（）}、曾根、大野、中野。初出場は神永（学生四年）。（ハ・名）

神永 準優勝

三四年 大会出場一回目にして決勝に進出した神永は、猪熊選手に惜敗、優勝を逃した。明大道場で連覇をめざし稽古中に負傷し、欠場した曾根にかわって補欠出場した田中（学生二年）は優勝した猪熊と二回戦で対戦、相手の一本背負のもどるなどの大外刈にきみ、「一本か？」と思われたが、技ありとなつた。結局おりをとりかえられて判定負けしたが、印象深い試合であった。

石橋^{（）}、岩崎、神永。初出場は徳永三幸、徳山操、甲斐福男、田中章雄。（ハ・名）

石橋弥一郎は二七年の初出場以来連続九年の大会出場を果した。

神永 連覇

三五年 山肩、石橋^{（）}、曾根、渡辺、石橋^{（）}。初出場は岩崎勇、小林昇、中野正登。

曾根は準決勝でベラン橋本選手をやぶり明大勢として初の決勝進出を果し、初優勝が期待された。決勝戦は、まったくの僅差で夏井選手の勝利に終り、涙をのんだ。

山肩敏美は、第三回大会に明柔柔係として、はじめて、大会出場を果した。（ハ・名）

算八回目の出場を果した。（ハ・名）

曾根 優勝

三六年 三年連続して、神永・猪熊の決勝対決となつたが、神永は体格技有利からくずれ突きに固めて一本とし、連続優勝をとげた。この大会で明大勢は若干手が大活躍し、神永の二連覇に花を添えた。先ず、前年高校生として初の選手権大会出場を果し、話題をもいた関勝治がこの年明大に入学、連続出場した。関は、七〇キロに満たない軽量にもかかわらず、加藤雅^{（）}、藤田、岩田等の有力選手を次々と倒して勝ち進み、準優勝した猪熊選手に僅差の判定で敗れたが、この試合の微妙な判定は後に色々と話題をもつた。例えは現在の国際審判規定では関の榮勝？ という試合内容であった。又

四年生の田中は準々決勝で身長一メートルに近い巨漢、小山選手と対戦し、これを見事な跳躍でとばして準決勝に進出したが、この技のすばらしさは今でも話題にのぼる。

出場選手、神永 甲斐、重松、田中 (学生四年) 関 (学生一年)、△五名)

三九(1) 四〇(12) 四一(10) 四年(10) 四八年(10) と六回に亘りいる。出場九人は三回。

神永三回目の優勝 坂口二位

三九(1) 神永—坂口の同門決勝となり、神永

三七年、甲斐、重松、田中、関 (学生一年)。

初出場は佐藤治、高田誠之助、神谷興介 (学

生四年)、坂口征二 (学生一年)、山本忠史

(学生一年)。現役学生が四名出場したこと

は特筆される。(九名)

三八年、全日本選手権大会の大会記録上同門

出身選手が一つの大會に十名以上出場した

というケースは、三十五回大會の現在まで

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

初出場の村井 (学生) は、準決勝で優勝者

の猪熊選手に僅差でやぶれたが大活躍であ

った。因みに明柔が同一大會に十名以上の

選手を送ったのは、この年の一五名の他、

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

初出場の村井 (学生) は、準決勝で優勝者

の猪熊選手に僅差でやぶれたが大活躍であ

った。因みに明柔が同一大會に十名以上の

選手を送ったのは、この年の一五名の他、

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

初出場の村井 (学生) は、準決勝で優勝者

の猪熊選手に僅差でやぶれたが大活躍であ

った。因みに明柔が同一大會に十名以上の



40年大会出場 明柔関係者 (講道館前にて)

四十年 坂口は決勝で松坂選手を判定でやぶり優勝。この大会、明柔勢は坂口を筆頭に優勝三回の偉業をなしつけた。二位坂口。準々決勝進出、佐藤、村井、重松、田村。出場選手、神永、比嘉、重松、田中、高田、佐藤、田村、関 (学生四年)、坂口 (学生四年)、鳥海 (学生四年)、村井 (学生四年)、△二名)。

坂口 優勝

八十九年

四十年 坂口は決勝で松坂選手を判定でやぶり優勝。この大会、明柔勢は坂口を筆頭に優勝三回の偉業をなしつけた。二位坂口。

三九年、神永—坂口の同門決勝となり、神永

三七年、甲斐、重松、田中、関 (学生一年)。

初出場は佐藤治、高田誠之助、神谷興介 (学

生四年)、坂口征二 (学生一年)、山本忠史

(学生一年)。現役学生が四名出場したこと

は特筆される。(九名)

三八年、全日本選手権大会の大会記録上同門

出身選手が一つの大會に十名以上出場した

というケースは、三十五回大會の現在まで

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

初出場の村井 (学生) は、準決勝で優勝者

の猪熊選手に僅差でやぶれたが大活躍であ

った。因みに明柔が同一大會に十名以上の

選手を送ったのは、この年の一五名の他、

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

初出場の村井 (学生) は、準決勝で優勝者

の猪熊選手に僅差でやぶれたが大活躍であ

った。因みに明柔が同一大會に十名以上の

選手を送ったのは、この年の一五名の他、

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

初出場の村井 (学生) は、準決勝で優勝者

の猪熊選手に僅差でやぶれたが大活躍であ

った。因みに明柔が同一大會に十名以上の

選手を送ったのは、この年の一五名の他、

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

三年)、山本 (学生三年)、坂口 (学生三年)。

初出場は山口友孝、宮崎敬一、朝田紀明、

田村興靖、井村正芳 (学生三年)、鳥海又五

郎 (学生三年)、△一五名)。

八十九年

四十年 坂口は決勝で松坂選手を判定でやぶり優勝。この大会、明柔勢は坂口を筆頭に優勝三回の偉業をなしつけた。二位坂口。

三九年、神永—坂口の同門決勝となり、神永

三七年、甲斐、重松、田中、関 (学生一年)。

初出場は佐藤治、高田誠之助、神谷興介 (学

生四年)、坂口征二 (学生一年)、山本忠史

(学生一年)。現役学生が四名出場したこと

は特筆される。(九名)

三八年、全日本選手権大会の大会記録上同門

出身選手が一つの大會に十名以上出場した

というケースは、三十五回大會の現在まで

明大關係を置いてない。三八年のこの大會

には明柔史上五十名が出現した。神

永、甲斐、田中、高島、佐藤、神谷、関 (学生

華央勝乙進出。

佐々木、河原、上村、重松、原(学生四年)。
初出場は坂本鶴正、須摩周司、吉永浩二。

二十一回目

五十年 上村は一回戦で優勝候補の遠藤を準決勝で新鋭山下を退させて、高木選手の決勝でのぞんだ。この試合、上村は終

この大会に出場した明大勢は、六名であったが、全員二回戦以上に勝ち進み、篠巻が準決勝で僅差の判定で負けた他、重松・佐木が立技の切れを見せた。
篠巻、佐々木、河原、上村、重松、原。
△六名）
五一年、上村準決勝進出。坂本、篠巻、河原
上村、原。（△五名）
五年、重松・準々決勝。岩田、上村、重松
原 初出場は加瀬次郎。（△五名）
五年、河原準決勝進出、重松準々決勝。
河原、上村、重松、鮫島、原、加瀬。初出
場は相沢郁夫。（△七名）

河原、岩田、上村、鮫島、原。初出場は中
村浩之上。上村脊脇連八年出場。
五年、河原準決勝進出。加瀬、蘿田、栗原、
準々決勝。準々決勝八名のうち四名を明大
勢が占め、明柔によって活氣のある大空会
なった。加瀬は二キロ級のハンデ
を越えて善戦し、喝采は博した。
河原、原、加瀬。出場は蘿田茂久、丸谷
武久、栗原千男。(六名)

河原 十回出場の表彰
五六六年 河原、加瀬。初出場は諏訪剛。△三
名▽
五七七年 萩田、丸谷。初出場は藤原敬生。

五八年 謹訪、藤原。△二名▽
(編集部)



料
メンバーズ亭
な
が
い

永井佑治(昭和三年度)

ガソリンスタンド

株式会社 力ネマツ
ガソリン・軽油・白灯油・各種オイル
その他カー用品

代表取締役 鈴木紀一（三八年度）
浜松市布橋三丁目七一十二
（〇五三四）七一一五〇五四

中島興業株式会社
（本店取扱店）
中島辰平社長
中島畜産食品株式会社
日本榮養食糧株式会社
中島畜産市場仲買員株式会社
弘友食糧株式会社
總本社
東京都墨田区本幸一六一
（東京33区四丁目）
（西元一千九百一十九年五月大正八年）

O B
便り

愛知明柔会

永井祐治

大いなる田舎愛知、素朴さと、純粹さで明柔会を後援しようとした当支部は今は亡き曾根辰一輩の首頭により十七年前に発足致しました。柔道への限界は母校柔道部への感謝の気持であります。柔道への限界は母校柔道部への感謝の気持であります。柔道への限界は母校柔道部への感謝の気持であります。

本年は日本実業団、全国高校総体開催地でもあり、多くの方々にかかれております。この間、多くの懐い方々に公目にかかるのでないかと、鶴首心躍らせておりました。是非当地においての折にはお声をかけていただき、昔詩話に花を咲かせたいものと存じてあります。

FASHION SHORTS PILOT HOUSE

株式会社アリス

代表取締役 佐々木充行
(42年度卒)

本社 〒79-36 徳島県美馬郡藍住町大字藍住町 802 番地
TEL (08835) 2-1138番(代)
大阪 〒50 大阪市東区安土町 1 町目 22-1
営業所 プライムビル 3F - 302 4F - 402
TEL (06) 264-6285番(直通)(代)

田中章雄

我々36年度柔道部卒業の仲間などが多く、定期的な同期会は行われなかつた。たまに仙台からその神永正夫君を圍んで集まりや、福岡から佐々木君や鳥島君ら本下征洋君等々が出席してきただ時など、東京・関東在住の同期が集まって酒をくみかわすことが、同期会といえば同期会のようなものでした。そして早いもので、あゝと気がついたら卒業してもう20年、一夜・高田誠之助君と痛飲した時に出た話が、卒業後20周年を記念して書いたものでした。

早速同期の連中に松本順吉君（学生時代のマネージャー）より連絡したところ、皆心よく賛同してくれて、昨年の3月箱根に12名が集まつて20周年記念同期会を行いました。ゴルフをする者は朝大箱根に集合、ゴルフをやらない者は夕方旅館に集合（二百間おもいっかり楽しみました）。そして皆の毎日から出たいい葉が、こんなに楽しいのですから毎日出たい葉が、でした。そして今年3月26日、塙鎌英一

A black and white photograph of a group of six people at a dinner party. They are seated around a long table covered with a white cloth, which is set with various dishes, glasses, and a large round cake in the center. The people are dressed formally; some are wearing ties. They are all looking towards the camera and have their hands raised, holding up small glasses or chopsticks in a celebratory toast. The background shows a window with horizontal blinds.

家族同伴同期会

鈴木強

でも我々イズム、皆で考え、よい方法を見つけても実行する……がかったよくなき人生をはたした。そして我々は年生の時願望をはたし全国優勝をしまして、うまい酒を飲むことができました。チームワークで優勝したわけです。

この度、昭和四十六年度卒業の同期会を三月二十日、二十一日の両日、私達が柔道部在

御殿場での楽しい時間もあつて、いよいよ第2回同期会もお開き。その前日、御殿場の富士靈園へ、学生時代よりお世話

になってきた曾根康治先輩と鶴巣栄八先生の
お墓まいりをいたしました。急逝した曾根先
輩を悼み我々の気持を知つてが、富士園園
は皇大典といふのにも雪でござる。(富士園
名簿がコンピューターで管理されていて戒名
住所、電話番号がインプットされています。
たずねる場合どれかを調べてからお出かけく
ださい)

第3回目の同期会は、来年5月神永君の協力を得て仙台で行います。その後は岐阜、九州方面で行事を考えています。現在メンバーズ14名ですが、まだ3~4名が未参加なので、仙台には、ぜひ参加を期待しつつ解散

毎年参加するのは大変ですが、益々楽しい会にして長く続けていきたいと考えています。

と脳裏をかすめて行きました。

新幹線の架線事故で少し遅れるとの連絡を頂いておりましたので、心配していたのですが、午後五時頃には先生も到着され、私達も一安心です。神水博士は、へつるいで頂いた後、部屋で御坐り一緒に湯上りの一杯を楽しんで頂きました。私達の時代でも酒豪がそろっておりまして、たちまち隣の部屋冷蔵庫まで空にしてしまいました。

私は部屋で一杯やっている間、奥さん方は、初対面にもかかわらず子供の話ををして打ち解け合っていた様子で、子供達も仲良く旅館内を走り回っていました。やはり柔道を志し、しかも伝統ある明大柔道部で一年間修業を積んだ夫を持つ妻、又子供達といううどどこか相通じ合うもののが有るのではないかと思いました。

といったベテラン芸者、すぐ我々もとうとてけて
酔うほどにだき合つたり踊つたり（この辺の
状況は写真で判断してくんだい）我々にはやは
りヨーモアの年増芸者の方方がよかつた
のかも知れません。皆大ハッスルでしたが、がん
芸者のさぞいには乗る者はなし、奥様ご安心
下さい。東洋醸造に勤めている神永君からお
差入れもあって、飲んだ酒はワインキー6本、
日本酒5升、ビール2打。これだけ飲んでも
翌日二日酔はゼロ、さすがに学生時代に鍛え
た成果がここに表われています。

思い出すと、我々も多聞にもれずよく飲
んだものでした。神永昭夫先輩が四年生で優勝
日本学生優勝大会に優勝した後、二年間優勝全
できなかつたので、我々が四年生になつた時は
「優勝してうまい酒を飲もう」と合言葉に頑張
りました。我々の学年の特徴は、共に柔道を
考え柔道部の運営を考えたことです。練習後
四年生が集まつてカラオリー（レストラン）で
大盛カレーを食べながら効果のあがる準備体
操、きめ細かく練習内容をチェック、後輩の
指導方法等々研究し、どしどしと実行して送
ました。又一年生は必ず同期道場での納会を
別会等の第二次会は必ず同期会員でくり
だしたもののです。柔道に関して遊びに関し

したが、皆幸せ一杯と言った感じでした。一

いて食事も出来なかつたようですが、それなりに又、楽しそうな感じでした。そこへ奥さんと息子を連れて香川君が到着。話は尽きる事なく続けれられ、あつと言う間に宴会終了の時間が来てしましました。しかししながら一家族まだ見えていないという事で、浴場側にて事情を説明した所、時間長を心配へと聞くと、すぐやく鈴尾君の家族が到着。話によると、静岡を出たトンネル内で新幹線がストップしてしまつたとかで、少々疲れている様子でしたが、久し振りに会つた同期生のファミリーを見て、「元気を取りもどしたよ」と言つてました。そのうち酔いつまつ回ってきて、今度はカラオケが楽しめますと、一人で歌を歌つてました。おはよ供と一緒に、始まりますと「人で」、と様々なスタイルで、奥さんとデュエットで、どちらも大いに盛りあがめられていました。もちろん、代わる代わるマイクを持ち合つた。神永先生も一曲ご披露して下さいました。本当に楽しく、そしてなごやかな一時でした。

午後十時近くになり、子供達が目をこすり始めたので、一先ずお開きにして、一階の私達の部屋に席を移しました。そして、宴会の時子供達の世話を落ち着いて話もできませんで、した奥さんの方も、子供達と一緒に食事を付かせた後

の人生訓を聞いたり、学生時代を振り返りながら昔話に花を咲かせたり、夜の更けるのも忘れ語り合いました。この席で、今回の家族 同伴同期会を開いた事に皆さんから感謝され特に奥さんの方からは、家族そろって旅行が出来たという開きで、また喜んで頂きました。毎回は「次回はどう開くのですか」とか「毎年、積み重ねてをしましょうか」等、今後の事についていろいろ案が出来まして、この家族同伴同期会の計画を立てた中の一人として、わざわざ七家族の出席ではありました、大成功だったのでないかと、私なりに満足致しました。

翌日、仕事の都合で早々に新家君が帰られ神永先生も九時過ぎには旅館を立たれました。今回の同期会においては、神永先生方をお招き申し上げ、この何とかお世話になりましたを申し上げ、この何とかお世話になりましたをお礼をさせて頂くつもりでしたが、逆にいろいろ心配して頂き、私達も大変心配をしてしまいました。しかしながら、私達教え子が妻を娶り、子供を持ち、幸せな人生を歩んでいる姿を見て、先生も安心された事と思います。

修善寺温泉を後にしまして、皆一緒に三津のシーバラダイスへ行き、イルカやオットセイの曲芸、水族館等を見学、必ず泳ぐべき大冒

い出多き伊豆を後に家路に着きました。
今回の家族同姓同期会は、毎日毎日仕事で忙しく、なかなか家庭サービスが出来ない私達にとって、家族への心のこもったプレゼントだったと思います。
これを機会に同期会の名称も決めて、ますます家族間の親睦を深めて行きたいと思っております。
冒頭、なかなか長い文章を書く機会がございませんので、まとまらない報告になってしましましたが、明美糸会の皆様方、たまには家族を伴っての同期会もよろしいかと思います。

「くにびき国体」を終えて

小村和紀



ようには島根は片田舎で、訪れる人も少ない処です。島根の「明楽会」は、私と馬庭光伸(昭和四十六年卒)、現、島根県警の二人だけです。かつては、新免純武先生、小酒薬先生もいらっしゃいましたが、現在はお亡くなりになりました。太学の柔道部の沙汰など、それだけに物情な輩活躍の活躍ぶりです。それだけに物情なんとなくわびしい秋のひとときを音話で花を咲かせることができます。

國体も、全國の神様が出雲の地に集まり、他国においては神無月、出雲の国だけは神有月の十月に開催されたおかげで神々の御加護により成功裡に終えることができました。私も強化演習としての貢献を果し、「古式の形」の取を演じさせてもらいました。近年近くに及ぶ強化準備でありますましたが、その支えになつたのは常に明大柔道部の魂と誇りでした。あの道場の聲を想起、天井から聲が降ってくらる思いをした稽古のお陰だと思っております。今、こうして筆をとっていると、道場での先生や先輩、皆んなの顔や声が走馬灯のようになつて浮いてきます。思い出せば、前回で坂本龍昇正選手から紹介のあった第一回全日本選抜団体競優勝大会で、初めて選手にでもった二年生の時です。

監督が曾根先生から、神永先生に移った頃です。神永先生からいつものように、「小村、来い!」と言われば稽古をお願いしました。いつも一本十分位の稽古をしてもらっていたのですが、その時はいくら経っても離してもらえませんでした。何か悪いことをして、その為に行儀されているのかなどと思いましたが、思ひある節もありません。一時間位も過ぎるごとだんだん目の前は翳み、足も違うのが精一杯でした。やっと稽古を終えてもらつて、「お前、今度の選抜大会で選手にしようと思うが、やつてみるか」と言われ、はじめて試されたことに気がつきました。高校時代何人の実績も無く、只日本一番強い大学柔道部を出してみたいという気持だけで、自分で手紙を書いて入部させてもらってから選手になることはやはり夢でした。大会の翌日の新聞大きな見出し、「明大、柔道日本一」は、まさに明大節を誇る夢でした。

入学当初は姿先生から、「百姓柔道しやがって、背中に竿をさしてやれえ」とよく注意されたものでした。又、私事ながら、三年生の時に父が倒れ、少ない仕送りも困難になってきた時、姿先生が「今、やめんでもええ、俺がある間は卒業させてやる」と元気づけられました。



ブラジルから

平島征也

「挙復、会報『明柔』ありがとう御座居まし
た。卒業してもう二十年過ぎましたが、『明柔』
を手にとると鮮に記憶が蘇り懐しさで
一杯です。御依頼の原稿の件ですが、私如き
にとびきりする同時に、何を書いてよい
のやら頭を抱えました。柔道に関することで
もと思いましたが、お前の山の体験でも書け
といわれる様な気がして勝手乍ら、あまり柔
道に関係のない事を書いてしまいました。
それでは姿先生、神永先生を始め皆様に宜
しくお伝え下さい。後輩諸君の活躍と、明柔
の発展を祈念して」

遙かなる密林

子供の頃からの夢に、いつかアマゾンの奥地を探検したいと希望していました。

求めれば道は拓けるといいますが、私も多少の経験を経て、大学卒業3年後には、幸い憧れのブラジルの地を踏む運びとなりました。もちろん、目的地は遠い文明の彼方、「緑の魔境」と呼ばれている地域です。言葉も出来ないし、金も無く、柔道で鍛えた身体だけを資本に、未知の世界を求めて、独り旅立ちました。

茫茫大漠々たる大原野を汗と埃にまみれ、マ

れたこともありました。明大柔道部の厳しさの中にある情念のような氣も致します。

「名を惜しむ」という言葉もあります。又、

元明大柔道部師範、三船宏蔵先生の著書の中に「今日成し得ること、明日に延ばすべきらず」という言葉があります。柔道部明柔会が並んで旗を上げる時ではないでしょうか。思いつくままに綴りましたが地方の開闢でたわごとを言っているとお聞か下さい。皆様には、御自愛専一あらんことを祈り上げ、いつか揮顔拝顔まで、先ずは失礼致します。

四十二年卒 島根県警

中華麺 大盛軒
有株会社 小寺商事
代表取締役 村上京杉
神戸市中央区武庫川町1番地 電話(052)7899
中野店……山田良太郎 東京支店野野村 田中野野村(371)5743

太洋
橋本一郎
都営地下鉄三田線 蓮根駅前
TEL (967) 9863

企画力、技術の生かされた印刷

- PR関係美術印刷
- 事務用印刷・ビジネスフォーム印刷
- 出版関係印刷
- ポリエチレン・ポリプロピレン各種印刷
- 製袋・加工、各種加工成型、
シール印刷加工

WKP 有限公司 渡辺欣勝堂
代表取締役 渡辺 欣副

神田営業所 〒101 東京都千代田区三崎町2丁目2番10号
渡辺ビル4F 電話(03) 262-4635(5)
本社工場 〒115 東京都北区浮間4丁目15番5号
電話(03) 967-9317(9)

サンバーグ の冷凍食品

- JASが認定する高品質。
- 衛生検査100点・完璧な衛生管理体制。
- おいしさ便利さ、たちまち人気もの。

(旭化成グループ)

サンバーグ株式会社

茨城工場 〒305-0424 茨城県筑西郡筑西町宇田字西山向1426-1
TEL 029-808-72631

木に覆われた千古洋鐵の大密林、緑の磨鏡の名に相応しい地域です。まず、棲む家から造らなければなりません。密林の伐採、山小屋建設、庵掘り、狩猟場作り等。季節が始まる前にやらないければならない仕事が山ほどあります。井戸だけは、一人では能率が上らないので断念した。飲水は直接川の水を飲む事になります。四十度近くを越す炎天下（この木は乾季に落葉する）で、来る日も来る日も黙々と斧をふるいまして。森闇にこだまする「ヨコーン」という音しげな斧の音だけです。ぱし手を休めるとき、すぐ無気味な静寂に戻ります。これは未だ人間の文明を拒否しているからです。音のない世界」なのです。今更ながら、遠くへ来た事を、ひしひしと肌に感じます。いつも猛獸や毒蛇、インセクト（土生）に襲われるのも、すぐ聞えるように腰にはピートルと山刀。火を焼きの火、照りつける陽に魚熱地獄さながら、身も心も焦げ尽しそうです。日も暮れ綿の如く疲れた身体をハンモックに横たえる

と、毎晩発熱し、関節という関節が疼き、「う、バラ」音をたて壊れて空氣を吸い込ましも早朝、熱も痛みも何處かへつゝ、新しい命が蘇って来ます。悪戯鬼闘の末、ついに密林の木とガスラと櫛子の葉のみで、粗末ながらも我家が出来上り、万感胸に迫ります。「さて、これから何をすべきか」と考へていたら、もう食料も底を尽き、今晩の食事すら無いのに気付き、慌てたものでした。まして、今日からは食料も自分で確保・採集しなければ生きていけない、と、現実に早くも直面し、慌てました。この時はすぐ狩獵に出掛けましたが、密林の中でもう甘くはなく、薄暗くなり始めた頃手ごてで今日完成したばかりの山小屋に辿り着きました。
「何か喰わなければ、腹は減るし、気も焦るし、やがて死んでしまう。その時はこれまでの川魚を釣り、飢えは不妥と期待が入り混じりました。その事を考へる、不安と期待が入り混じった胸が高鳴り、なかなか寝つけませんでした。
それから約五年間を、狩獵と漁獲採集を生活の糧として、密林の中で独りで過しました。ある時は、密林の王者ジャガーとの対決、一度越す大蛇スクリーとの格斗、未開の人種

インジョーとの出遭い、マラリアに倒れた事等。とにかく、それが新鮮な驚きの連続にして、つづらつしが不安も消え去り、未知の世界へ魅入られ虜になってしましました。森に同化し、森の住人となってしまいました。

以上は、十数年前、私が渡伯した当初の頃の話ですが、以来今日まで、私の心を支え励ましてくれた事があります。その一つは、自分で自分が日本の人であるという自信。当時の話を聞かずして生きる者にとっては、日の丸を背負う事になります。もう一つが、明大の柔道部で鍛えてもらったという自負です。これは、身心両面の自信となって、いつも私を力強く支えてくれております。なや・ブラジルには同期の有賀茂樹君（安田火災勤務部）が、サンバへの活動で紹介します

(三六年文学部卒 大分県上野ヶ丘高校出
ブラジル、ヘロオリヅンテ在)

出発に際して

木下剛至



今四年間がなくなつた。あれから、この名門明治大学柔道部に入學し、その時姿先生が私達新入部員を集め、「四年間は短かい、その間にりっぱな柔道家になるよう努力しなければならない」とおっしゃったことが、ついこの前、やうな氣分には十分な明大柔道部であったのに、それをフルに活用できなかつたのは、氣合いのなさだったと反省しております。しかし、私が四年間明大柔道部に在籍して感じたことは、嘉納治五郎先生の柔道の原理は「精力善用活用・自他共榮」であるといったその事が、まさに明大柔道部で学んだことが、最も大切な事だといつておきたい。

に出会えたことは、柔道の修業のみならず社会勉強においてもこの上ない吸収になりました。このことは、これから的人生に大きな力を与えてくれる無形の財産になると感じます。

卒業式を終えて

佐藤恵生



行わる卒業証書をいた席で、日本武道館で、卒業式に出席して卒業証書をもらいました。その中でも、私にとって、明治大学柔道部員として暮らした四年間は、たいへん有意義でまた思い出深いものであります。思い浮かべてみると、六年間にも及ぶ学生生活が全て終りました。その中でも、私が主にやっていたのは、柔道部員として暮らした四年間は、たいへん有意義でまた思い出深いものであります。そこでカレーを作った合宿所生活、また暗いうちで寒い寒い寒いといったかよつた寒稽古、肩の怪我、広畠の合宿最終日の朝のリレー、しばれるほど汗がでた大濠公園での朝トレーニングなど、そのどれをとっても今となっては、忘れる事のできない懐い思い出ばかりです。その中でも特に、主務をやった一年間が、貴重な経験になったと思います。監督からラネージャーをやるようになって言われた時は、本当に、いやいやでしまうが、わざとせんじましたが、ひき受けた以上は、人から文句をいわれました。そこで、小学生の頃から教えると、六年間にも及ぶ学生生活が全て終りました。

れないようにならなくていいかと思いま
た。そうは言つても、部員全體の把握、合宿
や遠征試合の準備、会計、新入生の入試など、
することなすこと初めて経験するばかりな
上に、四七名とはいえ、団体をまとめていくと
なるとむずかしいもので、失敗ばかりで、部
長監督をはじめ、部員のみんなにも迷惑のか
げどうでした。それだけに、幹部交代式で
ひきつぎをすませた時には、「ああ終った」と
いう満足感がありましたし、いろいろな仕事
を通して人間的にもいから成長したと思
いました。今思えば、何もせずにほほんと四
年目を過ぎよりも、マネージャーをやってい
て本当によかったと思ってます。

四月一日には、社会人、年生として初めて
出社します。いろいろ先輩業者として不安
が多いですが、明治大業柔道部卒業生として
の自信と誇りを忘れずに大きな希望をもって
生きしていくつもりです。これからは、社会と
いう大きな骨の上で「本とれる」ような人に
なれるようにがんばっていきたいと思いま
す。

東芝本社営業部



明柔会親善ゴルフ大会

此の親善ゴルフ大会は、生前曾根先輩の音頭で
発足し、会を重ね、第27回大会を迎える今回
は神永、伊藤両幹事の計らいにより、埼玉の名門コ
ース、日本カントリークラブにて5月18日総勢13名
にて開催致しました。この日は初夏を思わせる晴天下の、新緑コースの中で、
小さな白球を、右へ左へと追いかながら、遠い昔話に花を咲かせ、楽しく一日を
過しました。尚、成績は下記の通りです。

| 順位 | 氏名 | アウト | イン | グロス | ハンデ | ネット |
|-------|-------|-----|----|-----|-----|-----|
| 優勝 | 北瀬暁一 | 43 | 42 | 85 | 9 | 76 |
| 2位 | 野坂良雄 | 38 | 40 | 78 | 4 | 74 |
| 3位 | 渡辺邦雄 | 56 | 51 | 107 | 30 | 77 |
| | 渡辺欣嗣 | 43 | 41 | 84 | 4 | 80 |
| | 神永昭夫 | 52 | 44 | 96 | 15 | 81 |
| | 伊藤義一 | 55 | 51 | 106 | 21 | 85 |
| ラッキー7 | 神田和夫 | 48 | 45 | 93 | 6 | 87 |
| | 福田二郎 | 46 | 51 | 97 | 10 | 87 |
| | 鈴木愛忠 | 51 | 52 | 103 | 16 | 87 |
| | 高田誠之助 | 51 | 55 | 106 | 15 | 91 |
| | 河辺一彦 | 55 | 59 | 114 | 18 | 96 |
| ブーピー | 金丸国一 | 59 | 64 | 123 | 20 | 103 |
| | 岩田久和 | 65 | 73 | 138 | 30 | 108 |

(※ 野坂君は初参加のため、総合第2位となる)

この大会は現在、東京近郊のOBのみで開催されておりますが全国OBゴルフ愛好の諸兄にも、大いに参加して頂きたく、この機関誌を通じてお願い致します。次回はふるって参加して頂く様お待ち申し上げます。



下町明柔会新人歓迎夕食会

と師範の入会（名譽会員）がきました。師範
も又、センスあふれる話術できり返すという
調で、爆笑の渦はどきれる間がなかった。歓
迎会では指導者の条件としてユーモアのセ
ンスは必須のものとされている。

下町明柔会会員諸兄、まさに、同慶の至り
である。

会員消息

・野坂良雄（39 岩谷産業株）

シングガボール駐在から五八年四月東京本
社へ。

・西村良之（45 東南貿易（株）
台湾駐在から五八年一月本社輪出部へ。

・堀原博見（46 旭フーズ（株）
本社から五八年五月札幌支店へ。

・姿信夫（44 中央競馬会
美浦トレセンから三月本部へ。）

・吉井敬吉（47 東南貿易（株）
位に影響がおこるのではないか？ 曰く、幹
部会でシンギするべきではないか？……等々
と大きさわき。結局、渡辺政雄副会長と神永昭
夫幹部会員の職権？で、先生に立って入
会の抱負をのべてもらつということであつ
て一年間同地に滞在する。

・本社よりインド、ゴア支店へ駐在（六月）
・今春卒業した吉田尚生は南部フランスアジ
アン市の招聘を受け、四月出発した。彼は
同市のスポーツセンター柔道主任コーチとし

思い出の一枚



(1)

●昭和12年6月 九州遠征(於 耶馬溪 羅漢寺) ●前列右から 坂本清(故人)
鷺見了円, 宮川周藏, 高橋康, 晴山文八郎(故人), ●後列右から 小宮良平,
宮島竜治, 大平, 千葉芳胤(故人), 姿節雄, 佐藤春生(故人), 福田重夫。



思い出の一枚
(2)

昭和27年 地下道場にて



昭和39年 オリムピック合宿にて



●昭和14年 双葉山相撲部師範就任記念(於 地下相撲場) 柔道部師範 三船九段
小宮, 高橋, 千葉, 荒井, 坂本。 ●剣道 中山 ●ラグビー 北島 ●野球
谷沢 ●ボクシング 永松 ●相撲 滝沢 の各氏も見える。

明大の技(2)

渡辺政雄の大内刈

「いくらなげられても氣分？」がよかつた」「稽古をしていて爽快感をおぼえる柔道だった」渡辺政雄を知る人は、彼の柔道をこの様にい。世の中に強いといわれるのは結構いるものだが、相手に爽快な気分を感じさせる様な稽古の出来る人ははないものである。渡辺政雄は、足技の講道館といわれたよき時代の講道館少年部の出身であり、足技、特に大内刈を軸とした流れる様な連続技は伝統のサムライを見る思いだた。

大内刈から体落し、内股。釣込足から大外刈、体落しから大内刈、内股の連絡等、理づめな作りと加速度的にスピードがのつくる連続技は、むしろ華麗でさえあつた。昨今人気のラグビーでいえば、レベルの流れる様なラインプレー、といふところであろうか。もちろんこうした攻めは正しい姿勢と無駄のない体さばきから生れるものであり、どんな相手とも、スキッとした姿勢で稽古していた様子が彷彿する。彼の柔道のもう一つの特徴は、相手の体格、体勢のいかんを問わず、自分の技が出ていたということである。本当に強力な技の持主でも、きまつた自分の組み手にならなければ技が仕かけられない者が多い近ごろの柔道であるが、彼の場合、大内刈の例でいえば、右自然体からの他組みぎわの攻め、両そでをとつての攻め、等どこをにぎっても相手を

崩すことが出来た。姿勢の悪い相手ほど技がきいた、といつてゐる。

彼の得意の大内刈一休落のコンビネーションは、連続技の代表的なものの一つであるが、後年、この渡辺のスタイルをついだのは、久永峻(32年)、渡辺邦雄(34年)、吉井敬吉(47年)、あたりであろうか。都会風ともいえる華麗な立技を展開した彼も、不本意な試合や稽古の後には何時も部屋にじこもつたり、スタミナ補強にまむじを愛用したこと等、あまり知られていない一面もある。彼の柔道に対する執念を垣間見るエピソードである。

(昭和三十二年)

東京都選手権大会決勝 対池田五段

彼の得意の大内刈一休落のコンビネーションは、連続技の代表的なものの一つであるが、後年、この渡辺のスタイルをついだのは、久永峻(32年)、渡辺邦雄(34年)、吉井敬吉(47年)、あたりであろうか。都会風ともいえる華麗な立技を展開した彼も、不本意な試合や稽古の後には何時も部屋にじこもつたり、スタミナ補強にまむじを愛用したこと等、あまり知られていない一面もある。彼の柔道に対する執念を垣間見るエピソードである。

(昭和三十二年)

東京都選手権大会決勝 対池田五段

各種ウエス 工業用クリーニング
安全用具一式

(株)立花商店

代表取締役
立花敏明
(34年度卒)

〒720 広島県福山市港町2-77
TEL 0849-23-0180

隨筆

私の修業の頃

門屋賢伍

私は終戦間もない一十三年岩手より上京、兄が柔道部OBだった関係で入部させてもらつたものの柔道経験はなかった。

私は戦時下の旧制中学で、軍事練習優先の時代に、柔道は教課として学んだだけで、戦後になってからは野球をしたので、柔道に関する知識はズブの素人であった。

入部当初は駒込柔道倶楽部として活動しており、部員は二十名ぐらいいたのだろうか、師範には当時から姿先生がおられ、部員は軍隊から戻られ復学された先輩方が多く、主将には、古賀先輩があり、活発な活動をさせていた。これらの先輩達は、柔道の全盛期に培ってきただけに筋金が通つており、気合がちがつていた。又、戦争でのブランクを取り戻すかの様に張り切り、その気魄が感じられた。この頃の学内は言論、思想の自由から、学生の集会が多くもたれ、騒然たるものがあった。

入部して、奇異に感じたことは、天下の明

大にしては、あまりにも似つかない、道場の広さで、当時は正規の部になつていないので、仮住いなのかなとも思った。

当時の食糧事情もさることながら、極端な物不足で、肝心の柔道着も表がすつかり磨り切れ、レス用の帆布をスッポリ被せての稽古で、帆布のズレが夥しく、再三稽古を中心断させても、全員で隅々を引張つて縁に挟み込みながらの稽古で、加えて地下道場特有のあの湿った空気が更に汚れた稽古とのノド、鼻の中央から痰クズが出てくることもあつたが、柔道が出来ることの喜びで、満足していた。

初心者の私には、手頑な相手がなく、毎日毎日みくちゃにされながらも、先輩方にオシリ、膝をつかせることを目標に励んでいた内に、私の体形に一本背負が合うことが判り、それからは、相手構わざ、ただがむしゃらに一本背負をかける様に、チカラもつき始め、先輩からも三段の試験を受ける様に云われ、先輩も出来、大いに張切つて稽古に精が出たが、何んといつても底の浅い柔道、何度も壁に突きあたり挫折しかけた。

当時は未だ大絶戦の混乱期で、武徳会からの切替え、戦争による空白からなのか「定期昇段試験」なるものがあつて、一気に三段

を免げることが出来た。

入部した翌年の六月、これに挑戦二段を相手に乱取試合でこれを負かしたが、一本背負だけの単調なものだった。それで果して三段の資格があるのかどうか、合否の予測について付添いの伊藤主将に尋ねたところ、渉い事で不安があったが、結果は合格であった。晴れて黒帯を締める様になり更に姿先生から寝技を修得し、黒帯らしくなった。

この二十四年には曾根、大野君たちの入部があり、この頃から自選他選の部員も増え、道場も愈々賑わいを見せた。

この年の八月、駿台俱楽部として初めて、関西、九州遠征を行なわり、古賀監督、伊藤主将以下總勢十一名で、広島、九州の芦屋、若松、久留米と転戦、広島、久留米では吉本をなめたが、この時の広島には山尾君が久留米には石橋君がいて活躍された。

三十五年九月には学生柔道が解禁になりまわりは一層盛りなくなった。

昭和二十七年度

つづく

整骨院経営 札幌市在

高田 喜之

思ひ出すこと

いであった。毎日そんな思いをしながらもなんなく済むかれるものがあつて、せつせと四年間かよいめた。そして四年に進級したとき、主務をおへつかることとなつた。

これは私は私にとって悔いても及ばぬ痛恨の一年で、仕事初めの新入生歓迎会で飲めてしまふだけでも汗顏の至りで、亡き葉山先生はじめ御関係の皆様に大変迷惑をおかけしたと、今さらながら反省することしきりである。

私が入学した頃の部は、戦後いち早く他校にさきかけて柔道部を創設し、優秀な人材を集めて圧倒的な強さと層の差を誇る、無敵の名を誇る。それが、私が四年生になつた頃は、強力な諸先輩の卒業と他校の充美によって、さしもの柔道王国にも幾分のけがりがみえ始めた時期で、諸先輩が築き上げた伝統と栄光の歴史を汚さぬよう懸命の努力を重ねている時であった。道場は追われる者悲壮感と、常勝を義務つけられた者の使命感が入り混じた重い雲霧に包まれていたが、それでも毎日が灰色の練習が明け暮れ、というわけでもなく、樂しい思い出も多い。

過ぎこしかたの五〇年を振り返ってみると、平凡な人生体験の中にも懐かしい様々の思い出がある。とりわけ大学生活の四年間に忘れないものがある。それもほとんど柔道部にまつわるものばかりである。といっても、特別に練習に打ち込んだというわけでもなし、なんの実績も残さずただ四年間を籍したに過ぎないのだが、この間に培われた忍耐力や闘争心が、その後社会人となって、ささやかながら直面した難問解決にどれ程心の支えになつたか知れない。ささやかの方をすれば、私の人間形成にかけ替えのない貴重な四年間であつたと思つていい。

好きで入った道だつたが、先輩は鬼のよう強く、練習も思いのほかきつく、入部後間もなくすると、意気地のない話だが道場の敷居を跨ぐのも相当の決意を必要とするようになつた。当時道場は地下にあって、外の明星を背にし、重く湿った空気のよどむ階段を降りるときは、さじすみ地獄の門を通る思

なかでも、多くの者が関与し、共通の話題となり得るものに松竹映画への協力出演がある。これは監督と名乗る者から部へ正式に申入れのあつたもので、明治大学柔道部協会と銘打つて宣伝したいとの意向であつたが、アマチュア資格にかかる恐れがあつたので校名を伏せることで協力することにした。

この映画の主題歌をもつて部歌が祭歌にしたよ記憶しているので今も残っている筈である。映画の題名は忘れたが、今までうど、タノキントリオのよう、石浜朗、浦井正巳、船戸順といつた若手人氣俳優が出演する学園青春物で、柔道の試合の場面の吹替と部員の役をやって呉れとのことで、出演料は、一人二(二)円、折詰弁当付きで、當時のアルバイト料で結構の待遇で、それが又、大変な魅力であった。何を基準にして選抜され忘れたが、兎に角、我部が誇る谷塙登麗な者を選びすぐつて勇躍、松竹大船撮影所へおもむいたものである。

映画が完成したのち、関係者全員が試写会に招かれた。先ず、タイトルバックにスローモーションの技の型がシルエットで写し出された。誰のが担当したか覚えていないが、ゆ

つくりした大きな動きは幽玄の美しさすら感じさせる見事な出来映えで、大いに感動したものである。試合の場面も迫力あふれ、先方にも未満足してもらつたと思っている。以上の通り結果は上々だったのだが……撮影当日は寒い日で、撮影の間が水く、ライトで暖めて呉れたが道衣では耐えられぬ寒さであった。時間つぶしと保温のため当然のように稽古が始まる。大きな体育館の中にはエキストラの観客が大勢いて、退屈している時など大喜びである。大観衆の拍手に憑乗りしてプロレスの眞似事までやりだす始末で、終った頃は、すっかりリラックスしてしまい、有りもない慎みや誇りなど、どこかへ消し飛んでしまつた。開放感にひつた若者の群のやることは今も昔も変わらはずない。名前が部員も同じでいる。やがて和服姿で忙しく階段を登り降りする女優さんの方をみて、誰かが、何もはいてない筆など云うのである。ボルヌれしているものは、その道の専門家の演技にしてやられてしまったのである。

しかし、その時の印象は鮮烈で、三〇年過ぎた今でも「寅／お前／なにをしておるのか／」とスクリーん上から目をもいて叱責する葛飾柴又帝釈天の和尚の顔に接するたびに、我がことのように首をすくめ、若い頃の放らなりする役柄を得意としている人なので、つまりその演技を得意としている人なので、つまりは、その道の専門家の演技にしてやられてしまったのである。

私も今は当時のその人の年輩に達したのだから、学生らしくしないさい」と手厳しい喝を食わせられてしまった。表情といつて口調といつては、同じ局面に置かれても、無作法な若者をたしなめる自信がない。ことに筋斗骨疊とした怪しげな風ぼうの輩など相手にできるものではない。実に立派な態度だつたと思う。だが、この人は笠智衆と云う著名な俳優で、先生と父親役が多く、たしなめたり、叱責したりする役柄を得意としている人なので、つまりは、その道の専門家の演技にしてやられてしまったのである。

これが、その時の印象は鮮烈で、三〇年過ぎた今でも「寅／お前／なにをしておるのか／」とスクリーん上から目をもいて叱責する葛飾柴又帝釈天の和尚の顔に接するたびに、我がことのように首をすくめ、若い頃の放らなりする役柄を得意としている人なので、つまりは、その道の専門家の演技にしてやられてしまったのである。

編集部

諸兄のなかには、「第一道場」といわれて「ハテ?」と思うむきもあるほど、と合点すると言われれば、ウン、なるほど、と合点することだろう。そして駿河台サイト-テイラー裏にある、あの酒屋を懐かしく思い出すに違いない。

「下戸ならばいざ知らず、呑める者なら、かって一度や三度、あの店先に呑みをしたおぼえがある筈だ。よき時代、練習をおえた懐のさひい連中がつれだって、サンマのカンヅメなどをさかなし、コップ酒でおおいに英気を養ったものである。道場では鬼の上級生も、この第一道場では妙にやさしかったのも、きびしい稽古後の解放感からであったのか。

当時、柔道部が屯した場所は他に「若松」という喫茶店があり、この店の親切なマダムは、よく皆の面倒を見てくれた。いわば「若松」は軟であり、「横山」は硬派の場であったらしい。その時の状景が目に見える様だが、加茂君にとっては忘れられない思い出であろう。それにしても仲々の御両人である。

ついでにもう一つ。これは加茂君を含めた何人かの話であるが、練習がヒルで終つて銀座へ買物に出かけ、夕食をすませて戻つて見ると、加茂君とそのグレーブは、まだ立ちはだしてやっていた。

以上後輩ということで加茂君に無断で登場してもらつたが、この件では彼にも意見があることなどあらうから、そのあたりはこの次会った時、呑みながらゆっくり承ることにしよう。

柔道の実力と酒や食事の実力と関係があることは思わないが、前にも述べた様に、チームの勢いとはいふ分関係がありそうだ。例えば、最近絶好調の相撲部は、「横山」の出席率が柔道部よりいさきが良いらしい。しかし御主人の話では昨春あたりから、又柔道部の足

に十年以上たつた。あと一ヶ月、よく焼酎をのみにいた神保町本屋街裏の「平六」が、店も立派になって健在である。しかも八十才を越したあの御主人が元気で陣頭指揮をしてある。あの酒屋を懐かしく思い出すに違いない。

「いつの頃からかはっきりはしないが、店の人の記憶では、徳永さん、永井さんの時代、あるいはその少し前からではなかつたか、とのこと。若き日の徳永三幸氏はよく、さきにカ等で、ハイつていたそうである。神永、比嘉、高島、小川等の三三年度組も気分の良いのみで、だつたらしい。

現在「横山酒店」も代がかわり、その当時小学生だったお姉さんが、男前のお嬢さんを迎えて立派に店をついている。しかし、いつも変わらず我々の相手をしてくれるこの若夫婦も、高校生の娘さんがいるときけば、明治も遺ぐなりにけり、と魅チャレの一つもりでく

るというものである。この御夫婦に第一道場歴代の猛者たちのエ

が復活して来たということなので、何かにつけて名門復活を切望しているOBにとつては、気運上昇のきざしだろうかと、心をふくらませている昨日である。それでは我々にとっての第一道場「横山酒店」の商売繁昌を祈念して雑文をとじることにしよう。

が、第一道場へ出勤前にチョット第二の方に立ち寄つたと思って頂きたい。ところが、ついでちそびれて、そのままわづつわづわるとこは、前日の忘れものをと

学生時代の思い出

野田 健次郎

K

先づ断つておくが、最後まで読ん願いても、錢の徳にもならない。ただ皆様の学生時代を想い浮かべていただきながら、何分間かお付き合い願えれば幸である。

早いもので昭和三十三年春に卒業して、丁度二十五年になる。入学はその四年前の二十九年で、まだまだ戦後の復興醸めやらすの連

ビソードをきくと實に楽しい。やはり部の隆盛期にはこちらの道場も繁昌したそうで、例えば、朝田、神屋氏等は當時を代表する選手であり、たまに我々が走向と大いに喜んでいたのであるが、柔道部の足が遠のいて久しいらしい。

といふ訳で、地下道場時代から綿々とつき合いで続いているのは、この「横山」だけと云うことになる。柔道部とことのかかわりは、いつの頃からかはっきりはしないが、店主の記憶では、徳永さん、永井さんの時代から、あるいはその少し前からではなかつたか、とのこと。若き日の徳永三幸氏はよく、さきにカ等で、ハイつていたそうである。神永、比嘉、高島、小川等の三三年度組も気分の良いのみで、だつたらしい。

現在「横山酒店」も代がかわり、その当時小学生だったお姉さんが、男前のお嬢さんを迎えて立派に店をついている。しかし、いつも変わらず我々の相手をしてくれるこの若夫婦も、高校生の娘さんがいるときけば、明治も遺ぐなりにけり、と魅チャレの一つもりでく

るというものである。この御夫婦に第一道場歴代の猛者たちのエ

が、第一道場へ出勤前にチョット第二の方に立ち寄つたと思って頂きたい。ところが、ついでちそびれて、そのままわづつわづわるとこは、前日の忘れものをと

タオル製品販賣
四国商事株式会社
〒655 東京都中央区新富1丁目11番12号
電 話 (3 81) 5 664-7612
◎タオルギフト各種 ◎オリジナル銘名タオル各種

ジュウタン出張クリーニング
住まいの出張クリーニング
ダスキンサービスマスター
株式会社 マヤ建装
TEL 323-6959 松田 幸次 (48年度卒)

女性服装・アクセサリー
鈴木商事有限公司
鈴木 強 (46年度卒)
足利市 八幡町 82-12
電話(0284) 4616-4617

菓子問屋 段上商店
株式会社 段上秀馬
取締役社長 段上秀馬
東京都葛飾区本所4丁目11番5号
電話 622-9121-3

輩の〇氏に新宿で食事をて馳走になつた時のことだが、一人で合宿所へ帰れと云われ、タクシーに乗つたまでは良かったが、目黒を面白と間違え朝帰えり。合宿所の玄関で小田先生に見つかり、お玉を戴感したこともある。全くの田舎者で、東京の生活に馳れるまで相當時間がかかったことを覚えてる。

(その一) 大学入学前、小生は同県出身の古賀正助君(現天理大學監督)と、今で云うセレクションに参加し、一ヶ月位だったと思うが、鬼よりこわい最級生の岩崎、河辺両先輩に預けられ、一緒に同生活させて貰った。その時の苦労話(?)だが、二人が炊事当番を命ぜられ、ゴハンがうまく炊けず、両先輩に大変迷惑をかけた。住いが中山競馬場の近くだったので、両先輩から「野田ノこんなメシが喰えるか、競馬場も喰わんぞ」と毎日お叱りばかり。したがって残り飯は、好むと好まざるに關係なく、小生ら二人の胃の中へ。(大飯喰いの土壤はこの頃からで、さうじ)早くまともなメシが炊けるように、

話をさせてもららう。

(その二) 大学入学前、小生は同県出身の古賀正助君(現天理大學監督)と、今で云うセレクションに参加し、一ヶ月位だったと思うが、鬼よりこわい最級生の岩崎、河辺両先輩に預けられ、一緒に同生活させて貰った。その時の苦労話(?)だが、二人が炊事当番を命ぜられ、ゴハンがうまく炊けず、両先輩に大変迷惑をかけた。住いが中山競馬場の近くだったので、両先輩から「野田ノこんなメシが喰えるか、競馬場も喰わんぞ」と毎日お叱りばかり。したがって残り飯は、好むと好まざるに關係なく、小生ら二人の胃の中へ。(大飯喰いの土壤はこの頃からで、さうじ)早くまともなメシが炊けるように、

當時の先輩、後輩の皆様はよくご存じの事と思うが、日本選手権大会にも何回か出場された警視庁の三浦六郎(旧姓野田)という人がいて、柔道の組手が変型だったため、小生の柔道が似ているところから名付けられたと聞いている。だが、小生は今でもそうとは思っていない。本当は毎食茶わんで六杯メシを喰っていたからと思う。しかし、今は亡き先輩に聞くすべもないが、草葉の陰で「六ノお前の云つてることか?」などと云つておられることが、本当に云つて呟くのが、もう少々のお付き合いを願う。

「六」という数字は社会人になってからも何か役に立っていて仕事にも、遊びにもこの数字を重宝している。それが不思議と良い方向へ結びつき、當時の先輩の皆様に感謝している次第である。ただ、毎年正月になると何時も郵政省に申し訳がないと思うことがある。小生への年賀状がこれで届く、有難いことだ。

終りに、他愛ない駄文に最後迄お付き合い頂き、深謝致します。次回、又機会があれば、もう少し「マジ」な事を書くことにします。

昭和三二年度
越谷市在

酒場にて

鈴木愛忠

日本人は何かにつけて酒を飲む。私は渋谷の一角にスナックと称する酒場をはじめ、お陰さまで今年で十五年になります。

毎日、様々な人達と接し「この人は今日いやなことがあったのか?」「うれしい事があったのか?」等と様子を見ながら、それにうまく話を含せていくのがこの商売です。工藤欣一氏はとくいの男の歌シリーズを歌い上げるのですが、氏の聴辨はつきいても血が熱くなる思いがします。ただ、カラオケとまったくあわないのは何うしたことか。神永昭夫氏のカスマブゲや青葉城恋歌は哀愁に満ちて、仲々きかせます。福田二朗氏の蘇州曲は、最初に私がいた二十年前から全く技術的進歩があるません。田中雄氏は、予供さんにきいたところによると、家にカラオケがあるそうで、そのかいあって「スバル」等ニューミュージック系を、杉原構氏は、松田聖子、中森明菜等可愛い子ちゃんの唄専門グラスをますます重ねていくということにな

二人で毎日悩んでいた。今日では、電気炊飯器なる文明の利器があり、バカでもチヨンでもスイッチ・オンで、あとは一人で出来上がりだが、当時はカマドにハガマだし、おまけに内地米だけでなく、外米や麦が混入しているものだから始末が悪く、火加減、水加減が分らず、真な飯が炊けなかった。勿論、両先輩が始めた「外米、麦は水をよく吸つので、中指の根元まで、内地米は中指の第二関節位の量量でよい」と教えられ、二人とも指示通りにやるのだが、出来上りはお粥になつたり、焦げたり、はまたガッテンメシと、こちらの意に反した出来上り。それでも古賀君は一週間位で飯炊き免許持伝の墨付を頂戴したが、ドジな小生はしばらく時間が掛かった。あとで分った事だが、小生の指がためた何程料理はうまくなつた。古賀君とは久しく会つてないが、多分、彼も同じだろと思つ。

(その三) 大相撲の闘取衆と喰い競争をして、我が柔道部の名を高めた話を披露したい。大学三年の頃だったと思うが、小生と同じ故郷のご指導官しきを得て、愛妻にも負けない程料理はうまくなつた。古賀君とは久しく会つてないが、多分、彼も同じだろと思つ。

(その四) 大相撲の闘取衆と喰い競争をして、我が柔道部の名を高めた話を披露したい。これは後日談があり、さきの親方から合宿所へ電話があり、「大飯喰いは出世する。小林君は是非スカウトしたい旨の相談があった。今風にいって、「マジ」な話だったのです。当方は「彼は当部のレギュラー候補だから……」と云つて体よく断つたが、この話はまだ、奥部屋の親方時代、千秋葉の夜招待され、一年後輩の小林健児君以下四、五名で馳走になつたことがあった。その夜、時ならぬ我が柔道部対陸奥部屋のチャンコとメシの大喰い競争が展開され、圧倒的な差で我々が勝つた。戦績は我が部の頭領が小林君で中ドンブリで十七杯、相手方の最高が十五杯だった。

(因みに小生は十三杯だったと記憶している)これには後日談があり、さきの親方から合宿所へ電話があり、「大飯喰いは出世する。小林君は是非スカウトしたい旨の相談があった。今風にいって、「マジ」な話だったのです。当方は「彼は当部のレギュラー候補だから……」と云つて体よく断つたが、この話はまだ、奥部屋の親方時代、千秋葉の夜招待され、一年後輩の小林健児君以下四、五名で馳走になつたことがあった。その夜、時ならぬ我が柔道部対陸奥部屋のチャンコとメシの大喰い競争が展開され、圧倒的な差で我々が勝つた。戦績は我が部の頭領が小林君で中ドンブリで十七杯、相手方の最高が十五杯だった。

(因みに小生は十三杯だったと記憶している)これには後日談があり、さきの親方から合宿所へ電話があり、「大飯喰いは出世する。小林君は是非スカウトしたい旨の相談があった。今風にいって、「マジ」な話だったのです。当方は「彼は当部のレギュラー候補だから……」と云つて体よく断つたが、この話はまだ、奥部屋の親方時代、千秋葉の夜招待され、一年後輩の小林健児君以下四、五名で馳走になつたことがあった。その夜、時ならぬ我が柔道部対陸奥部屋のチャンコとメシの大喰い競争が展開され、圧倒的な差で我々が勝つた。戦績は我が部の頭領が小林君で中ドンブリで十七杯、相手方の最高が十五杯だった。

は、あのやさしい？顔で「愛、恋」の歌がと
くいです。関勝治氏は、歌と顔がマッチし、

つて。 一日も早くこの願いがかなえられる事を、願

台北回憶

卷之三

だけ突然台北出張を命じられ、三月出国、ビ
リの関係もあり、二ヶ月目に帰国、そのまま
翌月出張の形で台北へ往復すること八回、約

負けの声で他のお客さんも聞きはれるほどで、今年の卒業式も中村君を初め楽しもうとに歌っていました。思い出せば、あの人もこの人とも顔が浮んできます。こんな店をやっていて楽しい事は、時々地方の方がたずねて見える事です。何年も会わざにいる方ですか姿形が変り、頭は薄く腹は出でいても、会ったたんに学生時代にもどり、あの明大道場の楽しい(?)思い出を今は嬉しそうにかたなり、青春時代唱った歌を大声でとなり、若い時に比べて聞く歌です)と言われ、自分の歳を忘れていたのか生きたり大笑いになるのです。これは日々を過ぐる私、毎日が同じ

窓をあたいで、いつこうに年とらず、いつもやうめく身でいる爲、自分がすこした頃の歌を聞くと我持するが、自分のものでした。
明治大学で学び、道場で過した事を心のかつてとして、生きている仲間と、渋谷のかたすみでやっている店ですが、柔道部が、東京大会で優勝に輝く日を願い、今日も仲間とグラスをかたむけているのです。

スを持って事務所内を一人で右往左往していましたが、テレックスの文字とは血も涙もなく何とめたのかと思った。

ます。 した。五十五年末一時帰國の折先生宅をおとづれ、渡辺民二先輩の話、又奥様よりも血圧が高いとの心配をされているとか、健康について、色々話ををして台北に戻った矢先と思い

三月に入り、渡辺先輩の一周忌だなあと思
いながら、この年始めた台北の寺院回りをし
ていた。

客がよく日曜に移動してくるため余り休みない)や、又祭日のみで、朝おにぎりを作り、水筒に水を入れ(但し台北の水はそのまま飲めず一度沸騰してさましたもの)バスに乗り、龍山寺、行天宮、指南宮、孔子廟、円通寺

明け突然台北出張を命じられ、三月出国、ビザの関係もあり、二ヶ月目に帰國。そのまま三年台北に駐在、昨年末帰国しましたが、その間、私にとっていちばん身近に感じたのは、私にとって忘れることの出来ない思い出がある。

ひとまずは五十五年三月出張後すぐに起きたことで、突然台北事務所にテレックスに入ってきた、私はとってもいちばん身近に感じたのは、私が又敬愛していた、渡辺民一先生の訃報だった。

单身赴任でまだ一ヶ月もたってなく、当時ホテル住いで地図、習慣、言葉等、仕事を含めまだ慣れておらず、ホテルと事務所の徒歩にて依る往復、タクシーに乗るのも住所を書いた。

日本同様におみくじとか願かけ等で毎日に行っている。又寺院は仏教、儒教をベースにしている。若い人も結構多いのである。二十本程度の線香を持ち、十ヶ所程度それぞれの神様にお参りしながら寺院をひとまわりして、

いう精進料理だけで、もちろん結婚も出来ないきびしいもののです。

そのような時、これも突然テレックスにて曾根先生倒れるの一報に、そのテレックスを持ちすぐさま自宅にもり、妻とどうしようと言ったことをおぼえています。仕事の関係もあり、一人しかいないこともあって帰国でもあります。東京での状況聞かして頂きました。出来ず、ライライした日々を過ごしていた時が、福岡県原発事故の日だったのだと思ひます。電話を頂き、仕事をそっちのけでホテルの部屋へ訪問し、東京での状況聞かして頂きました。栗原先輩も目から涙を流しながら話され、つまにか一人共ボロボロ泣いていたことを

いたメモを見せて行く様な始末であった。
その頃、事務所で考るには、仕事の事
よりもすむはは何を食べるか、無理屋食がすむ
と夜は何を食べるかと、無いことばかりと
記憶している。ホテル住いでホテル問題もな
い為、イージーであるが、駐在というと毎日
ホテルのレストランというわけにもいかず、
(問題はサラリーナのだが) 食堂にいくと言
葉が通じず(料理名もわからぬ) サラリーナ
から考えたら、安くて口に合う食物を探すわ
けで、一人ですることなるよりの大変だった
わけである。
台北ではあらゆる料理があり、食べること
には苦労しなかったけれど、食するまでが大
変で、へたに一人で中華料理等食べようもの
なら、北京、四川、上海、廣東、湖南、湖北、
山西、福州、台湾料理と色々あり、一チープル
にて十二〜十三品で、その内一品オーダー
しても量が多くすぎ、料金も割高となるわけ
である。
その様なわけで、何とか夕食をすまし、本
社への連絡の為再び夜九時事務所へ行くわ
けであるが、その時の悲報に接したわけで、
夜の事務所の誰もいないところ、テレック
トしてでも量が多い、料金も割高となるわけ

思い出します。この時、栗原先生という聞き役話し役がそばにいた事は、気持ちの上です。いぶん築になつたことで、栗原先生に感謝しています。

三つめはプライベートだけれど全く信用出来る人物に出会ったことです。その人はやはり学生時代柔道をやったことがあり、台北では家族づきあいしておらず、現在でも電話又手紙のやりとり等しています。

日本の考え方の方と人情・信用は二つの次というふうに利害関係の上に友人関係がある点では余りに現実的で、へやといふ言葉がある点では、

柔道会
年度卒)
山彰治

本食糧工業所
年度卒)
塙本勝人

甘木市大字甘木 2420
TEL 0946-2-2061

台東園
(3)
理事長 丈
合名会社 塚本
(3)
代表取締役
〒838 福岡県
T

台東区柔道会

(31年度卒)
理事長 丸山彰治

合名会社 塚本食糧工業所

(32年度卒)
代表取締役 塚本勝人

〒838 福岡県甘木市大字甘木242
TEL. 09462-2-206

はど味わされた小学生に取りひとつの大まかな

思い出ありました。彼は自然をこよなく愛し中国人としてはめずらしいくらいの責任性が強く、仕事面でも小学生に色々アドバイス、又

小学生の考え方の長短所の指摘してくれた友人で、忘れるのできない一人である。

彼ら夫妻にも子供がなく、この点に於てもお互い親しくなったこともあると思いますが、昨年帰国後、彼の太々（奥さん）の兄さう夫婦の子供を、養育して迎えたとのニュースがあり、何とその二週間後に我々夫婦にも八年ごし懐妊して、これは「縁」というものではと考えたりしています。

とにかく人生の長い道のりの一部分である台北駐在で、仕事以外での思い出として残ることは現地生活での苦労等様々あると思いますが、やはり柔道というものを通した「縁」ことにかく人生の長い道のりの一部分である

最後にこの場をかりて、駐在している間詰先輩、皆様方に御無礼しており、帰国の挨拶を述べさせて頂きますと共に、台北にて御世話になりました、栗原先輩 杉原先輩 国安君、又わざわざ台北まで柔道着を送ってくれた篠巻先輩にお礼を述べさせて頂きます。更に明柔会事務局として御苦労かけた、代田先

輩、吉井、入江君に感謝しています。

昭和四五年度

警察の表芸・「柔道」

江川真司

昭和五十二年四月、大学卒業と同時に三重県警察官を拝命しました。現在、県警の柔道特練生として、大野師範（昭和二十一年度卒）

の師事のもと訓練に励んでおります。柔道特練というのは、県警の柔道指導者を養成する

体制のことです。選ばれた者が、切磋琢磨し柔道を修行し、その柔道を警察全体に普及する為なのです。

警察官にとって柔道を修行することは非常に大きな意味があります。警察官は法的執行官であります。もちろん法律、実務等に精通していかなければならないのですが、それを執行する力が必要なのです。つまり、

「強く、正しい警察官」でなくてはなりません。警察官として遭遇することが予想される種々の事態に対処し、適切にそれに適応して事案を処理しうる身体的、精神的能力が必

要だからです。

ついで、私はこの会報の原稿の依頼を受けた時は、びっくり致しました。どうして私に?そして、何を書いたら?と、非常に困りました。原稿の下書きは何回もしましたが、根が暗いのでしょうか、在学中の稽古に対する後悔ばかりが頭の中を駆けてしまつてしまつ、本当に困ってしまいました。

そこで樂しかった事を思い出しながら書いてみようと思います。

私達の学年は同期の部員が五人しかいないという情ない時代でしたが、五人という人数は善きにつけて悪さにかけ連帯感がありました。一年生の頃には、やはり大変でした。道場の掃除など、稽古以外にも疲労の種は有り余つてみようと思います。

私達の学年は同期の部員が五人しかいないという情ない時代でしたが、五人という人数は善きにつけて悪さにかけ連帯感がありました。一年生の頃には、やはり大変でした。道場の掃除など、稽古以外にも疲労の種は有り余つてみようと思います。

柔道を修行することによって、武道的な心

のくばり方、身の処し方を身につけることが出来、又、自己研鑽と求道との過程を通して人格的陶冶がなされ、警察官らしい警察官の体質や骨格を形成することが出来ます。

例えば犯人逮捕の際に要求される判断力、気道、技術、安全能力等が身に付き、きつい勤務や活動に十分耐えうる強い体力、精神力も育成されるであろう。又、組織人として公人として、礼儀を重んじ公正な社会的態度も養われます。これらが、警察の表芸たる所以のです。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

私は大学進学の時、日本一の柔道部で柔道がしたかったことから、明治大学に進学し、柔道部の門を叩きました。四年間、明大柔道部の為に、何も活躍することは出来ませんで、明大柔道部は、私が日々の事を教えられたが、活躍できることが出来ませんでした。社会に出て、それが非常に役に立っています。又、「明大柔道部出身なら」という意識が、数々の困難を乗り越える原動力になつたように思います。これから柔道部として邁進する事が出来ます。

見、というよりも貴の忠告を得られることで忘れるものではありませんでしたし、少し余裕での二年生頃には、もう私達の独壇場でした。新宿界隈は、第三道場とも申しましょうか、第一道場の稽古が終るものやとかしくなんと毎日五人で繰り出していました。

それが私達の最高の楽しみでした。そんなこれが私達の最高の楽しみでした。そんなこ

んなで三年生、四年生と指導的立場になった

時には、先生方からよく叱られました。「お前等は、変な時（遊ぶ時）ばかりまとまってい

るな!」となるほどその通りであったので、

今はさらながら恥かしいまどりであったのか

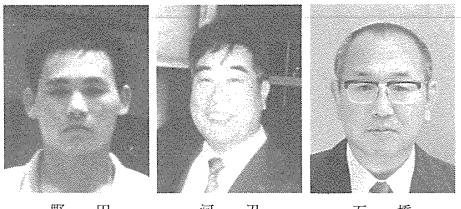
と深く反省しています。それでは、取り得の

ない、ただ酒を呑むだけの連帯感があつたよ

うに感じられるかもしれません、そうでは

福岡人誌

福岡県の巻



野 田

河 辺

石 橋

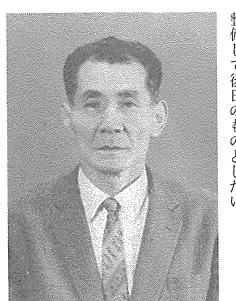
人国記なるものは、国別、又は府県別にその地方から輩出した人物を、歴史的経緯にしたがって論評するものである。したがって旧制大学時代の資料が得られぬまま、明柔人国記戦後編といふ変則的な形で出版するこの連載に異論もあるうかと思うが、部史の掘りおこしと整備の作業と理解いただき、今後の掲載に御協力いただければ幸甚である。

(文中敬称略)

明柔道部の戦後の歴史に、福岡県出身者がした足跡は大きい。
旧制大学時代にも、明柔道部の父ともいいくべき存在となった葉山三郎(昭二年)をはじめ、多くの人材を生んでいる。

葉山はチャキチャキの博多っ子で、現在市の中にになっている中央区の大名小学校で幼時を学んだ。“明柔62”で、渡辺政雄が追悼している様に、氏の博多なまりがその温顔とともに、今も我々の脳裏に彷彿する。大正年

間の著名柔道家であった新免純武(大正四年度)細田喜美雄(大正一二年度)下つては現在九州柔道界の重鎮として斯道の発展に尽力している橋嶋一郎(昭二年)、戦後いち早く他大学にさきがけて部活動を復活し、駿台柔道クラブの名称で、活ぱつに地方遠征等を行つた時の監督古賀愛人(昭三年)も福岡の産である。その他戦後同様に多士済々を輩出している福岡県であるが、冒頭に述べた様に戦前の人物については、資料等をより整備して後日ものとしたいたい。



続く。四八年の鷹茂久(大濠高・旭化成)以後は現在も第一線で活躍中のO.B.で、農田文明(五五年)大濠高・中央競馬会・安川寛道(五五年)西南学院高・日鉄建材・重松裕之(五七年)大濠高・中央競馬会等である。学生では太田昌貴(四年)大濠高がいる。北九州地区を見ると、前出の河辺、岩崎について、八幡から三〇年代の中、後半全日本選手権大会の常連だった、甲斐福男(三三年)、大濠高・旭化成)、小倉からは、四七年の世界学生大会の無差別級チャンピオン・丸谷武久(五十年)大濠高・新日鉄)、田原聖也(五六年)大濠高・稚加栄)、亀谷泰司(五七年)、三千男(五四年)嘉穂高・新日鉄)が能方市寄附(二年)、嘉穂高)も小倉の産で成長が注目されている。

筑豊は、中村光明(三三年)前田悦雄(三七年)筑上中部高)について現役OBの栗原三千男(五四年)嘉穂高・新日鉄)が能方市学生の野中英司(四年)嘉穂高)が飯塚市から出ている。栗原、野中、野寺の川筋根性が期待される。

福岡市の郊外柏屋郡は、五一年の松岡孝烈(自営業)五三年の入江秀明(東南貿易)五四年の中尾保裕(消防庁)の若手三人を産して

旧制時代の葉山三郎が筑前博多の出身であることには前述したが、現在の福岡市から北九州市にかけては、戦後も多くの著名選手を出している。まず第一期黄金時代のメンバーだった、河辺一彦(二九年)、豊國高(法務省)、岩崎勇(二九年)、豊國高・旭ファーズ㈱)は門司。中野正登(三〇年)旭化成)は福岡市の出身である。河辺は現在法務省技官で講道館指導員としても活躍している。又岩崎は、柔道部から旭化成㈱への就職第一号であるが、爾来今まで十数名のOBがこの会社にいわばお世話になり仕事に柔道に活躍している。

先の評価が後に及ぼす影響を思えば、彼の先駆者としての苦労に敬意を表したい。筑前を福岡地区と北九州地区に分けて見ると、前者には、卒業後海外留学をした波多江健(三一年)修猷館高)体格のキレで定評があった。久永峻(三三年)修猷館高・正金相銀)原弘三郎(二七年)丸福商事)入江善員(旧池田(三三年)大濠高)三苦隆憲(三三年)大濠高)等がいる。

三五年度の重松正成(大濠高)は、三四四年、三五年と連続学生チャンピオンになつており、全日本選手権でも活躍した。ついで佐々木義宣(三六年)香椎高・三井建設)、四連覇

のメンバー石原賢信(三八年)大濠高)そして高武登志緒(三八年)大濠高)第七回世界選手権大会の中量級で準優勝した大外刈の技師、重松義成(四七年)大濠高・博報堂)と

以後は現在も第一線で活躍中のO.B.で、農田文明(五五年)大濠高・中央競馬会・安川寛道(五五年)西南学院高・日鉄建材・重松裕之(五七年)大濠高・中央競馬会等である。

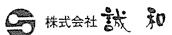
学生では太田昌貴(四年)大濠高)がいる。北九州地区を見ると、前出の河辺、岩崎について、八幡から三〇年代の中、後半全日本選手権大会の常連だった、甲斐福男(三三年)、大濠高・旭化成)、小倉からは、四七年の世界学生大会の無差別級チャンピオン・丸谷武久(五十年)大濠高・新日鉄)、田原聖也(五六年)大濠高・稚加栄)、亀谷泰司(五七年)、三千男(五四年)嘉穂高・新日鉄)が能方市

筑豊は、中村光明(三三年)前田悦雄(三七年)筑上中部高)について現役OBの栗原三千男(五四年)嘉穂高・新日鉄)が能方市学生の野中英司(四年)嘉穂高)が飯塚市から出ている。栗原、野中、野寺の川筋根性が期待される。

福岡市の郊外柏屋郡は、五一年の松岡孝烈(自営業)五三年の入江秀明(東南貿易)五四年の中尾保裕(消防庁)の若手三人を産して

ランドスケープの空間の創造に
わび、さびの
落着とダイナミックさを
表現する

日本公園施設協会会員



代表取締役 高田 誠之助
常務取締役 渡辺 昌照

〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2
八丁堀ビル TEL 553-7201㈹
保石地 取扱店 滋賀県彦根郡福井町地内
出張所 平塚、横浜、船橋

三進工業株式会社

取締役社長 三船 芳郎

工場製作品 各種塔槽類／各種圧力容器
建設工事 (国内及び海外)
プラント 石油、化学、製紙、製糖、製造
環境装置 都市地域冷暖房、清掃工場、
汚水処理装置、排煙脱硫・
脱硝装置
鉄構 高層型煙突、導水用鋼管、扶
骨、橋梁、水門扉、大型貯槽
産業機械 製鉄機械、プレス、クレーン、
原子力機器、その他

本社工場一川崎市川崎区小島町4番号 TEL 210
電話川崎(044) 266-0281(大代表)
建設機械=川崎市川崎区日ノ出1丁目10番1号平210
電話川崎(044) 266-0273(大代表)



ノ市の日系企業に勤務している平田義明(四
年 南筑高)と、この時期南筑勢が続くが
それぞれ久留米の産である。
久留米からは、この後石橋広一(四年
久留米商)、平田吉美(旧原 四九年 南筑高)
が出ていたが、平田以後はとだえている。平
田(原)は四九年の世界学生大会に優勝、五
〇年の世界選手権で準優勝と、数々の国際大
会で活躍したが、先年現役を退いた。現在俳
優業を志し研鑽中。成功を祈念する。
水郷柳川は、野田健次郎(三年 三池高)
池田健次(三年 柳川高)、須磨周治(四年



オークニジャパン株式会社

大國伸夫

育栄管財株式会社

育栄警備保障(株)

社長 鳴海誠一



東京：〒111 東京都台東区浅草1-22-13
TEL 03(3857)2851

大阪：〒556 大阪市東淀川区大深町1-37
TEL 06(4510)9208

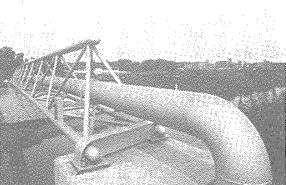
広島：〒733 広島市西区大瀬町13-23
TEL 082(229)1092

北海道：札幌市白石区ファーバーサントン通り9番地
TEL (265) 2906

本社 新宿区百人町1-22-26
TEL (363) 6351 代表

青森出張所 三沢市栄町1-31-142
TEL 01765(3)6678

札幌出張所 札幌市豊平区美園4条15丁目(三光ビル)
TEL 011(811)1899



確かな信頼のパイプ

都市ガス。

豊かな生活と住みよい環境づくりにご奉仕して55年。
京葉ガスは、工場とお客様をお結びする1本のパイプ
に培われた「信頼」を大切に今日もまた様々な技術と
豊富な経験で、より多くのお客さまにより多くの都市
ガスを安全にお届けします。

京葉瓦斯株式会社

菊池仁

四年 南筑高(新日鐵)を産んでいる。須磨は
四年、第八回世界選手権大会の重量級制を
し、前年の世界学生大会にも優勝している。
第三期黄金時代ともいって、四六年、七年時に
レギュラーとして頑張った石橋重則(四年)
加茂博久(四年)、七七年には八女市の出身で、と
もに南筑高(明大)ー博報館である。学生
の二年生に未金修(八女高)がいる。
筑前と接する朝倉郡の甘木からは塚本勝人
(三年)、久留米高(四年)が出ていた。塚本は現在
この地で事業経営に着手している。

福岡県の巻 終り (次号熊本県)

わが青春の駿河台

若き明大柔道マンに贈る

神宮大会で上京

渡辺慶助



このたび、明柔会諸兄方のご尽力により、本誌「明柔83F」号版を刊行されまし

たことに對し、衷心よりお祝い申し上げます。

また、拙文掲載の榮に浴し厚く御礼申しあげます。

私は、この機会に、日本学生柔道界の明日を担う若い明大柔道部の学生諸君に

対し、斯道の先輩の足跡をお知らせし、同門下生の修行に何らかの手掛けを与えるなら、それは無上の悦びでありま

私は、明治四十三年一月七日、岩手県上閉伊郡上郷村（現遠野市上郷町）という山あいの田舎で生まれ、後、明治大学入学の為上京するまでは、この「遠野物語」の地で、自由奔放に育ちました。当時は、今日の繁栄にはほど遠く、今若い人達に對しては想像もできないことばかりでした。

私は、昭和四年三月、地元の遠野中学を卒業し、或る大学を受験しましたが、途中でそこがいやになり、答案を白紙のまま出して故郷に帰つてしましました。そこで、私は、浪人してぶらぶらする訳にもいかず、柔道を活かして何とか自力で金を貯めて上京し、苦学してでも柔道と大学を両立させようとした決心をしました。

午前中は、農地整理測量事務所で働き、午後、中学校柔道を教えているとき、七月末に第五回明治神宮柔道大会上閉伊郡予選が行われる事を聞き、チャンス到来とばかり柔道の稽古にも熱が入り一所懸命にはげみました。大会前日の夕食時、家族に、「明日大会がある。出場して代表になり、ハ

の県大会で勝って東京へ行く。苦学しても大学に入り柔道の高段者として身を立てる」と話したところ、長兄が柔道の事をよく知つており、「釜石町から平松三段、早瀬村の白岩二段らが出場するから、おまえ（当時初段）は勝てないだろうし、県予選には中学校教師の四段、三段が多く出る、おまえは何か夢でも見たのか」と相手にしてくれませんでした。

私は、中学五年の夏休みに講道館で一ヶ月間稽古した時、三船先生から説かれた、「有言実行」を実践するとき、今はまだと思いました。決勝戦で平松三段を右太外刈でさそつて左の大車を掛けたところ、物の見事に一本取つて、郡代表になりました。八月県大会が盛岡高等農林で行われ、私は、苦戦して県代表になりました。私はこれで「有言実行」が出来た訳です。

そこで、一世一代の機会と思い、綿密な計画を立てて、親父にできるだけ多くの餞別を集めることを頼み、九月一日出発を期して準備しました。青雲の志を立てて「功成らすんば死すとも帰らじ」の精神で、東京では、本郷三丁目本郷館に下宿して、毎日講道館と明大道場に通つて稽古しました。明大は、中学校恩師佐々木良七先生（明大卒六段）の同級生宮古町出身の中島新一郎六段に会うためでした。行き違いばかりで仲々お会いすることができませんでした。当時の明大主将は北島龍治四段で、卒業後名古屋鉄道局に就職された方で、私を一年生と思ってよく面倒を見てくれ、明大の選手として早大、慶應等の個人大会に派遣してくれました。

ビル管理業

第一企業中央(株)

代表取締役社長
細川 隆夫
(38年度卒)

〒141 東京都品川区中延5-7-8
TEL 03-781-1218

十一月三日、第五回明治神宮柔道大会が、九段靖国神社の相撲道場に仮設された道場で、三府四十三県の代表選手が参加して挙行されました。八地区に分れて予選を行い、各地区一位が決勝トーナメントに出場できるのです。私は東北六県で四勝一敗で残念ながら出場できず、五戦全勝の青森県代表北林光雄四段（三船先生の書生）が決勝トーナメントに出場し第三位でした。優勝は牛島辰熊五段でした。

大会も終り、相変わらず講道館と明大道場で稽古を続けていましたが、十一月十日頃だったか、三船先生の御宅を訪ねて書生としておいてくれるよう頼みましたがが断わられてしまいました。私は一策を案じて、先生の留守に奥様に同県の人だから倉庫の隅でもよいからと泣き落し、「二、三日ならよいだ

ろう」と、先生もお許し下され、十五日程するすると泊めていたいたものでした。私は、目的を達したと思い、引きあけた決心をしました。先生は、「まあいいじゃないか、ゆっくりしたまえ」と言われましたが、「宿をみつけましたから」と答えて先生のお宅を辞し本郷館へ戻りました。

明大入学

十二月或る日、明治大学柔道場で中島新一郎六段先輩にお会いでき、即日下谷武神館道場に住みこむ事になりました。館長は熱田佐先生で朝六時起床稽古、夕食後門下生に稽古つけるのが日課でその他の時間は自由でした。午後一時から同三時まで明大道場で稽古、それから講道館で稽古というふうで朝から晩まで稽古、稽古でした。当道場では、日大宮崎清三段と山口二段、私の三人が書生でした。集つて来る方々は、明大卒中島新一郎六段、中大卒宮崎英海五段、日大卒小西勇三段で、小西さんは後に名古屋市森森家に養子に入り県議員に当選愛知県柔道親善委員の要請で副知事になつた方で、終戦後県費で柔道場を作る約束で私が推薦して愛知県柔道協会会長に就任した、後には東海道連合会会長も兼任された方で、柔道発展の為尽力した功績は顕著であります。昨年他界されました。

武神館道場には、現役選手日大小笠原、斎藤、沼田、中田各三段及び明大梶田義一三段等が稽古に来ておられましたがそれ等の先輩を相手に稽古して互格に稽古することが出来るようになりました。

当時東京では毎週土、日曜日に町道場や各大学で柔道大会があつて、私も当道場や明大の選手として出場して勝つてメダル、手ぬぐい等を沢山もらつて「コウリ」にしまつてました。私は、恩師も明大出身だし、それに三船先生からも明大に入る様にいわれていましたので、日大に入るのを断つて、明治大学専門部政治経済科に入つたのは将来政治家になる為でした。私が政治経済科に入つたのは将来政治家になる為でした。三年後の昭和八年四月法学部へ再入学しました。

閑話休題

東京学生柔道連合会発足について
東京学生柔道連合会は、大正十二年三月十日、高師出身橋本五段、早大出身二宮、高広各四段、明大出身川上四段、柘木出身柳瀬三段（当時の段）の方々の設立準備委員によつて組織し、学生の本分を守り日本精神の涵養を念として会員相互の親睦と柔道の向上発展のもととなることを目的とするとの趣旨に基いて、都下大学専門学校柔道対抗試合が毎年行われました。

大将 山地 ○菊池
明治大学専門部は力闘して前年の制覇者日本を破つて優勝。合宿した八名の内小田原、保科、菊池は、失職（現在のアルバイトとも違うが政治家事業家等の方が学生の柔道の将来性ある者を書き生として自分の家に住みこませて面倒を見たのである）。梶田主将以下四名は真砂館に残り職探しに苦心しましたが幸い小田原、保科は、政界の大御所中野正剛代議士のご舎弟瀬辺玄正道場に菊池は秋元道場師範として採用されました。

満州遠征

昭和十年十月六日、第七回全満州軍対東京学生連合軍試合について、下関から大連に向かう途中大坂航自慢の新造船黒龍丸に乗船して玄海灘にさしかかったところ、メンバー一作成の為高広六段監督（早大出身）から召集を受けました。早

大高山、明大菊池、高師岩井、國士館土屋、日大坂巻、以上六人で協議してところ大将問題で難行した。私はどうしても大将は明大からと頭領先輩からの要望に沿い、船が大きくて搖れがひどくて半分の人が船よいにかかった頃を見計つて五段昇段順の古い明大村山を大将におとしたところすんなり決まり、副將早大高山、三将高師岩井、四将早大柳井、五将國士館土屋、六将明大菊池、七将高師武田、八将早大山本、九将高師深沢、十将日大坂巻と決定しました。私は、順番で行けば副將になるところでしたが、大将を明大でいうこと

で六将まで下がった。当日 試合終了後明大OB会の祝勝会

| | | | |
|----|-----|-----|-----|
| 副将 | 日体大 | 3 | 明大專 |
| 先鋒 | 高木 | ○中川 | A班 |
| 大岡 | 飯山 | ○河野 | B班 |
| 渋谷 | 下原 | 小田原 | C班 |
| 加藤 | 原 | 原 | D班 |

に於ては、久しう振り明大から大将が出て全満州軍に勝つたのを非常に喜んで歓待してくれました。特に、先輩綿田六段は経済会の大御所であり、「菊池君よ、やった」とほめられました。明大選手菊池（私）、村山、鈴鹿の三人出場し、村山君は稽古は非常に強いが試合が下手なので、私の作戦が美を結んで不戦勝だったので、なおさら嬉しかった事は今もありありと目に浮んできます。

昭和十年十一月二十三日、第十二回大会、所・早稲田大学柔道場、総当たり戦、第一部に明大出場、大学の部、一位明大

二戦二勝、二位日大、戦一勝一敗、三位中大、三戦二敗。

明治大学対日本大学は一対〇にて明大優勝。先鋒宮島二段

は日大主将沼田四段を大外刈返しで一本とり、残り六人全部引分、宮島（一年）には日大沼田の大外刈返しを一ヶ月間練習させたのが結実。全く練習の賜ものと思います。私は大将

で日大実力大将の古野太郎四段と対戦しましたが、監督や

コーチは分け入ると指示してました。私は、攻撃は防禦であるとのタイプであったので大変困ったが、技を掛けられる度に頭で受身をして引分け。私は、一年の時にも大将で出場し、

明治大学最後の試合に大将で優勝することができました。

私は、昭和十一年三月法学院卒業と共に名古屋鐵道局に就職、昭和四十年三月定年退職、今日、尚柔道界の発展の為に尽力しております。

最後に三船先生の遺著「柔道一路」の中から、参考までに引用させて戴きます。

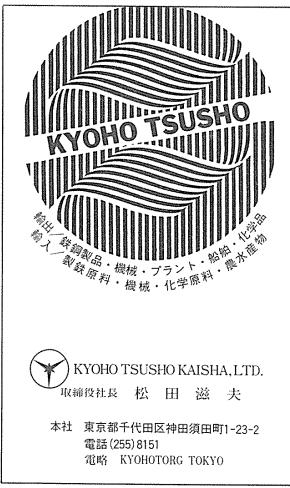
柔道部の選手とか監督になつたものは、社会人としても優

秀で各界の中堅、ポイントとなっている。これは柔道というものが単なる力較べではなく、精神修養として立派に役立つていることの証明になる。

嘉納先生の着眼点というか、目標が結実しているわけで、忍耐力、克己、礼儀などの涵養に非常に有効である。(中略)柔道修業の者が決して勉学をおろそかにしない、とう伝統があずかっていて(中略)眞面目で我慢強いからであろう

皆さんには先生の意を体して、立派に文武之道を歩かれ、このところ不振を極める栄光の明大柔道の再興に努力されます事を希望いたします。

昭和十一年度 三重県柔道協会副会長



本社 東京都千代田区神田須町1-23-2
電話(03)8151
電略 KYOHOTORG TOKYO

思い出の柔道部

高橋 康

はじめに

このたび、明柔会から原稿依頼が届いた時、私の脳裏を学生時代のことが乱舞し、血潮の高鳴りを胸に覚えました。

私が明大に入學したのは昭和九年四月、専門部商科、そして昭和十二年四月に法学院入学、卒業は昭和十五年三月です

から、この間の部員の主な様子などをお知らせすることにしたいと思います。

その前に私のことを少し述べますと、昭和十六年、現役兵として、満州第二十七三部隊に入隊、その後、新京の經理学校へ入学、昭和十九年、動員下命により、満州からヒリッピンに渡り、そこで終戦を迎えるました。

陸軍主計の隣りの収容所で捕虜容疑者として約一年間、山下泰文大將の隣りの収容所で捕虜生活をしました。比島から私が日本へ復員したのは昭和二十一年八月七日です。

このカランバ収容所内（ルソン島）で、偶然にも逢えたのは、昭和十年卒業の保科永四郎主計中尉でした。（昭十年卒五段）学生時代の面影はほとんどなく、すっかり瘠せて、枯木の感がしました。この人が青龍刀のような迫力ある大外刈の名選手の姿かとさびしく思いましたが、それでも生きてい

いてよかったです、と思ったものでした。現在は故人となられたとのことです。

異国の比島で逢えた、明大柔道部の人は保科先輩一人だけでした。

昭和十四年度の部員のこと

私が法学院三年の時、校友会々誌、駿台（創刊号、昭和十四年十二月二十日発行）に柔道部報告を書いてくれと、佐藤春生五段（故人）から頼まれて、「輝かしき柔道部」と題して報告したのがありましたので、それを参考に、当時の様子をお知らせします。

第九回日本柔道選手権出場者

この試合にはわが部から三名が出場しました。

一般的の部に、城戸五段（現八段元柔道監督兼所長）が出席。春生五段（故人）から頼まれて、「輝かしき柔道部」と題して準決勝戦で巨摩の畠田五段の上四方固に対し、私の隣に座った。観戦中の陸軍将校が、その精神力の偉大さを賞讃していました。

二人目の宮島五段（長野柔道会長現八段私の同級生）は、一回戦は不戦勝二回戦は高松の向井四段を内股に切り捨て、三回戦で、連悪く後輩の、一四〇キロの荒井健雄四段（故人 六段）と対戦し、分けとなる。抽せんの結果、荒井君が出場権を得る。

次に荒井君は、一回戦は不戦、二回戦は神戸の上田選手を



得意の腰に退け、三回戦に於て、宮島と引分け、四回戦で神奈川の伊藤五段を跳腰に舞い上げ、準決勝で、寝技の石村五段と長く、で引分け、くじ運の強い彼は又もや、勝ち残る。決勝戦で、これ又一四〇キロぐら

学連満州征

第一回東京学生柔道連合戦対全満州軍対抗試合。学連選手三十六名中に、わが部から、佐藤春生五段（故人戦死）、宮島龍治五段（現八段）、小宮良平五段（現八段第一番勝）、高橋康四段（江刺柔道会）、の五名が選抜された。藤五段は長身の藤原豊三郎六段を足払いに極めつけた。次の

昭和十四年七月十六日、午後一時より酷暑下の大連中央公園テニスコート仮設道場で全満州軍との熱戦が展開された。

小宮君は五段の二番手に出場し、篠原秋義五段と引き分けた。

この辺で学生軍は三人程、リードされていた。わが部の佐

藤五段は長身の藤原豊三郎六段を足払いに極めつけた。次の

初めでないので、緊張したのだろう。左技の私は左に組んでしまった。そのせいでどう、ダンサーガ、よく笑う。おかしいなと思ったが、どうにもならない。一曲が終ることのなんと長かったこと。終生忘れない思い出である。だが、私だけでなく、左技の某君も私と同じことをやって笑われていた。私だけではないだけ、まだまだと思っている。このショックで、それ以来、ダンスをしたことがない。思い出の多い、楽しい遠征となつた。

選手のプロフィール

ここでは、私が三年生時の部員だけが、書いてある。

(昭和十四年)

この頃、三船先生は時折り稽古においてになり、予科は葉山六段が指導されていた。この年の遠征は、小田原方面だった。稽古でつらかったのは、実力養成と、敵陣粉碎精神の涵養の目的で、十人掛をやつたことだ。では選手のプロファイルを紹介しよう。

明るい、哲学味ある発言をする人氣者の城戸五段は、やぎひげをつけたの剛車の如き左大外刈は王道を行、感がする。大川周明博士の日本精神研究を愛読してから、その斬れ味に深みが出てきた。（『55年手稿によると義孫』）佐藤春生五段の趣味は駆車の如きに完璧だ。双葉山の容貌に似ている佐藤君の得意技は足払いと、左体落である。新人連よ！ 佐藤先輩を学べ。

相手は、選手権専門の部に二回優勝の一回内股の名手、中島正行六段だ。熱戦数分の結果引分けとなる。

次は学連軍大将姿五段の出場。対する相手の飯山栄作六段は前回の専門の部の選手権者であり、警視庁三羽鳥とうたわれた一人である。

飯山六段は学連の副将尾崎稲穂五段（早大）をいとも易く得意技の小外刈で倒している。

リードさせていた学生軍はここで対等になり、大将戦となり、彼は又もや、勝ち残る。決勝戦で、こ

れ又一四〇キロぐら

いの遊田五段と熱戦延長三回で引分けとなり、優勝預りとなる。残念だ。

よる

大会終了後、繩田、神田、飯山先生には現地で色々と御世話をなったことが、忘れない。その後、学連の選手は、新京で三班に分かれ、満州各地を廻ってコーチをすることになった。私達は吉林、牡丹江、羅津、ハルビンのコースだった。

或日のこと、新京？ の大きなダンスホールへ、先輩に招待された時のことです。

先輩から、五六枚チケットを渡され、私なども踊ったこともないダンスを踊る羽目になった。洋行帰りの小宮君はうまいが、私には出来ない。先輩に気合いをかけられるのでダンサーにおねがいすることにした。

大連終了後、繩田、神田、飯山先生には現地で色々と御世話をなったことが、忘れない。その後、学連の選手は、新京で三班に分かれ、満州各地を廻ってコーチをすることになった。私達は吉林、牡丹江、羅津、ハルビンのコースだった。

或日のこと、新京？ の大きなダンスホールへ、先輩に招待された時のことです。

先輩から、五六枚チケットを渡され、私なども踊ったこともないダンスを踊る羽目になった。洋行帰りの小宮君はうまいが、私には出来ない。先輩に気合いをかけられるのでダンサーにおねがいすることにした。

高橋康四段、左大外刈、大内、小内刈、と連続技が得意である。これは筆者なので主観的になるので省略する。私のことをみんなが、ヤスさんと呼んでいた。百姓臭い音なので持主だ。

高橋康四段、左大外刈、大内、小内刈、と連続技が得意である。これは筆者なので主観的になるので省略する。私のことをみんなが、ヤスさんと呼んでいた。百姓臭い音なのでがつかりしていた。若さのせいだったろう。

帝都学生界の花形であり、十八才にして講道館五段に列した若年昇段のレコードホルダーの姿五段がいる。（五段で入立ってはヒ閉新味の切味のする左大内刈、内股、一本背負をよくし、寝ては、不動の強味を見せてくる。一度逢ったら忘れられることのないルックスの持主でもある。

五段はまだいる。渡辺平治五段（故人）。それに日本武道使節としてドント、イタリヤに派遣された洋行帰りの小宮五段だ。小宮五段は試合巧者で人間タンクの如き体躯から放れる捨身の小内刈に跳腰が彼の武器もある。点取試合なら絶対に敗戦の将となると豪語している頗らしい手だ。（扁平足なので、ピタッと吸付く足払いも強烈なことを思い出し

四段では五段候補の荒井君がいる。（前述）今後に於ける

技術では文豪芥川龍之介を思わしめる容貌をしている左大

写真説明

二列目中央三船久蔵 左へ葉山三郎 姿雄

宮島竜治

小宮良平 千葉芳胤 二列目右端齊藤雅夫 三列

車の遠藤文也四段

(十一年卒)

ディックネーム調の咽喉自慢の、斎藤雅雄四段(故人)が右体落と内股で軽妙な技を見せてくれると、千葉芳胤四段(故人・福島)は強引な跳巻で先輩を苦しめるが、浪花節と茶目(なごみ)では彼の右に出る者のいない程うまい。

思い出したようにひょっこり稽古に来る、眞尾信明四段(福島)は試合のために生まれたような試合巧者であり、浪花節が得意で、千葉四段の商売仇である。

三段連中には個性を思う存分發揮した連中が多い。

ボバイとホーリン草を連想させる元氣者で、論語、孟子の愛読者であるという菅井豊吉三段(七段佐原市)左釣込腰、左体落で荒獣の如き稽古を続行している。道場に於てなら、何時死んでも本望だと言い切っているだけあってぐんぐん強味を増している。

九州男子の意気はどんなもんかいとばかりに、チラッ、チラッと相手の顔を見ながら荒稽古をする男は、背負投得意としている。ニックネームが、ポールムニの久米三段だ。(故人 助教授)



昭和14年春新入部員歓迎会 於予科道場

本年度新人部員のトップは、実力共に優秀で柔道の虫、美男の田端裕己三段(現七段・修道館高校教諭)が、不思議に利く左釣込腰の美技を速効しての稽古が素晴らしい。(長くなるので、十名程度省略する)

私よりあとから入学して先に卒業した、法丸保晴四段(現八段、鹿児島柔道理事)は、軽妙な大車を中心胸のすくような稽古をしていました。

だが鹿児島産なので、日本語に翻訳してからでないと通じないところは、岩手産の私と彼の相通するところで、仲良くやった一人だ。

この報告文の最後は、偉らそうに、次のように結んである。

「後輩諸兄よ! 先輩の伝統を守り、新しく萌出る気持、新しい心境、伸びる若人の熱を以て部のため、明治大学のため奮闘されたい」

この頃の部はつらい稽古でもあつたが、笑いの断えない、楽しい柔道部で、学校は休んでも道場には必ず出席したことが忘れられない。

比島から生還したものの、当時の社会状勢からして、柔道はもう出来ないものと思っていたが、いわゆる、解禁になり、柔道を通しての私の人生が開かれました。

昭和二十二年から郷里(岩手県江刺市)で講道館創生時代のような歩みで柔道指導が始まりました。

最初は村の作業場、ここでは壁を壊すからと断わられ、次

私と戦後の柔道

この会で、私は三船先生の稽古の一ひととして稽古して戴きました。私は三船先生のスナップが「広報とおの」に掲載され、「球車で高橋六段を投げた三船十段」と説明がついています。学生時代によく発した、三船先生独特の気合、「タイシュー」はこの稽古中に聞かれませんでした。

続いて、私は三船先生創案の「投技裏の型」を渡辺先輩が「取り」で実演しました。

最初は村の作業場、ここでは壁を壊すからと断わられ、次

これを起点に柔道一路の道がはじまりました。そのかいあつて、岩手柔道事長の千葉翠七段（国士館O.B.）等、多数の優秀な弟子が生まれております。明大スピリットが、岩手にも生き続けております。残念なのは岩手柔連の役員には、明大O.B.がおらないことです。

最後になりますが、後輩諸君よ、日本に生まれた柔道をこよなく愛し、稽古を通して、何かを得たことと思います。諸諸の面に活かして下さい。技術面では、もっと足技、足払いを多く使用されは如何。同時に連続技を実験練磨（三船先生の言葉）の上、活用して下さい。最後に明大柔道部の伝統と友人愛を守り続けますように、常に東北の一角より祈り続けます。

追記

その一つは、故中野渡信行教授（私の中学一年先輩）のことですが、昭和五十六年十二月に、久し振りにデンワした時のことです。近頃の柔道部はあまりバッとしている話になりました。他所の大学で、優秀な選手を入学させようとしたらどうか。そうする事が大学発展にも人間育成にもよい結果が生まれるだろうから、そうした方針で努力する。こんな会話をしました。

そして明けて、昭和五十七年の年賀状に、「同室の百瀬先生（私の教え子）が昨年から柔道部長になりました。どうぞよろしく」と書かれています。それから間もなく他界されましたことを数ヶ月経ってから知りました。すっかり失礼して

往事の思い出

石橋 弥一郎



大東亜戦争もいよいよ激しくなり、國民総動員、戦争貢献に老若男女を問わず一億国民が全力をそそぎました。昭和十七年四月、専門部商科に入学と同時に柔道部に入りました。

柔道場は、体育馆の地下の一隅にあり、地下の水槽もありました。當時、休憩を知らなかったのも自慢の一つでしょう。学校の稽古が済むと、近道をして春日町の講道館へ稽古に行つたのですが、そこには先輩が待ち構えており、誰れとも

誰のが「サボッタ」と確認され、翌日は御説教になつていました。

当時は、都内の大学生が先を競つて講道館に集り、大場場が狭い程に稽古が大盛況であります。このように数多くの人々と連日の稽古ができたことが、柔道修業に大変効果があつたと思っています。

学校での稽古、講道館での稽古と、まさに稽古の虫といつても過言ではないでしょう。

第二は、怪我をしなかつたこと。

少々の怪我は、怪我のうちに入らないのが明大柔道部の伝統であった。今でも伝統は受けつがれていると思っている。

第三は、超スピードで昇段したこと。

昭和十七年一月、式段。

昭和十七年五月、紅白試合で九人抜き、抜群の即日参段。同年秋の紅白試合で九人抜きの抜群。しかし、あまりにも早いのでストップがかかり、昭和十八年一月、四段。同年春の紅白試合では、投げられて相手が抜群。（相手は海軍の軍人さん）

秋の紅白試合で六人を抜き、七人目に引分け、この中に

「技有り」有勢勝ちが一つあった為、翌昭和十九年一月、五段。

これは、「稽古の虫」の成果というべく、異例の早さであると思っています。

しまいました。残念でなりません。

中野渡先輩は学生時代に毎日遊んだ方です。斎藤雅夫君、久米勝君などと一緒に喫茶店へよく行ったことがあります。

「明柔」の「ひと筋の道」で私は御達致しましたが、百瀬先生、柔道部が躍進するよう、御尽力をお願い申します。

その二ですが、昭和五十五年五月十八日、当県釜石市で、第三十三回東北・北海道対抗柔道大会が、新日鉄釜石体育馆で行なわれた時のことです。

私は北軍の監督、明大からは、相沢郁夫四段（警察官）、桜田裕三段（宮城）が選手として出場し、故曾根八段（元新日鉄業務部長）審判として参加した時のことです。

試合前日の歓迎パーティー席上で、曾根八段、朝田紀明六段（新日鉄柔道部長）の三人で、雑談をしました。

最近の母校の柔道部が下降線上をあゆんでいるという話になりましたら、曾根八段が、「昔から、学の明治だからね、ハーフ」といったので思わず私達も笑ってしまいました。

また曾根八段が、「姿先生は非一度、釜石におびきましたよう」などとも話していました。それが実現出来ないまま、他界されたのは残念だったろうと思えてなりません。

昭和十五年度

岩手県江刺市在

昭和十八年四月から、久米勝先生のお世話で、新橋六丁目「尚志館小田道場」故九段小田常胤先生（国学院を経て明大卒）の門下生として住み込み、毎日、門人約七、八十名の稽古について世話をさせて戴くようになりました。学校、講道館、町道場と昼・夜を分かたず連続稽古したものです。入浴後就寝するには、毎日十二時近くであった。当時の町道場は、警察官や町の高段者が大半を占め、稽古も少年の部、成人の部と分けてあった。

猛勉強による進学

特別甲種幹部候補生となる。

我々の時代は、追試験にかかる事を最も恥としていました。追試に科目でもかかると学部進学を認めてくれなかったので、試験日が発表されますとすべて他の体育活動は中止され、ねじり鉢巻で、夜を徹して死にものぐるいで勉強したのです。

眠くなると風呂場で水をかぶり、頭を冷して眼鏡を貰まし空腹を我慢して日頃鍛えた体力にものをいわせて、本当に「ガリベン」したのです。

この「ガリベン」が効を奏し、昭和十九年九月に専門部を卒業、同年十月、法学部に入学することができましたが、学業なれば昭和二十年一月、千葉県松戸市にあった「陸軍工兵学校」に

実社会も、旧軍隊同様、気力、体力、精神力とともに知力を要求されますので、学生時代に大いに勉強に励み、実社会にははたいていかなければなりません。（追試にかかるような、柔道部の学生はないと言っています）さらには、実社会の指導者となるべく努力を怠っては、学卒者として恥ずかしい場面に遭遇することもあり得ることを、肝に命じていただきたいと思います。

就職と全日本選手権出場

昭和二十四年三月一日、福岡県警察に身を奉じ、学生時代を思い出しながら、その仕事とともに、柔道の稽古に昼夜を分かたず精進努力しました。そのおかげで、全日本選手権に九州代表として、二十六才の時から九回連続出場する栄誉に浴することができました。

これも偏見で明治大学の学生時代の修業と、警察界における努力の結晶だと信じています。最後になりましたが、学生をよく指導していただきました。故葉山三郎先生をお祈りいたします。また、全国から、西も東も判らずに上京した後輩を偏愛することはなく、すべてを自分の弟同様によく面倒を見て下さった、故久米勝先生をあまりにも早く亡くしたことは、明大柔道部にとっては大きな損失であったと思います。御家族様には、哀惜の意を表す次第であります。

私たちの学生時代と比べて、現在の学生諸君は、あらゆる面で恵まれており、幸福な環境にあると思います。

三月十日未明、東京大空襲の折、我が工兵中隊に出動命令が下り、出動したのであります。

汽車も電車も線路が寸断されていたので、市川駅まで完全軍装で夜行軍。市川駅から電車に乗り、五時間ばかりかかり引続き、軍用トラックで龍野川国民学校（現小学校）にたどりつき、軍装を解いてそのまま工兵隊特有の作業に従事しました。

その後、また、B二九の大編隊が飛来し、大空襲、我々は飛鳥山に避難し無事でありましたが、眼下の王子製紙は大炎上。

夜明けとともに、再び作業にとりかかりましたが、数えきれない程の死体の跡始末、道路に倒れている電柱の取りのぞきや跡片付けと、寝食を忘れて処理に当りました。

更に、任務が変り、飲料水の確保のため、武藏小金井の水源地の修理を命ぜられ、昼夜を分かたず任務に当たりました。が、その作業中にも艦載機が我々兵隊めがけて、機銃掃射を繰り返してきたことが昨日のよう思ひ出されます。

軍隊は、何が何でも、体力・気力・柔道で鍛えた不撓不屈の精神力が大いに役立ち、中隊でも優秀な成績を残すことができたのであります。

柔道部の学生諸君、姿師範を中心とした稽古、上村尚先生を兄と慕つて、稽古の時はすべてを忘れた、無の心境で修業に励んで下さるよう、九州の地より見守っております。

昭和五十八年三月十一日

九州管区柔道師範 昭和十九年度卒

代表取締役 杉原 構

—— 商業手形割引専門商社 ——

東京都知事届出済

杉原産業株式会社

千代田火災海上保険代理店

代表取締役 杉原 構

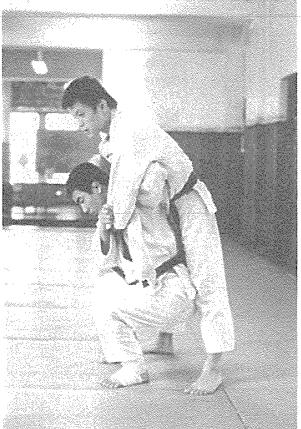
東京都新宿区西新宿7-13-9(ムツウビル2F)

新宿警察署

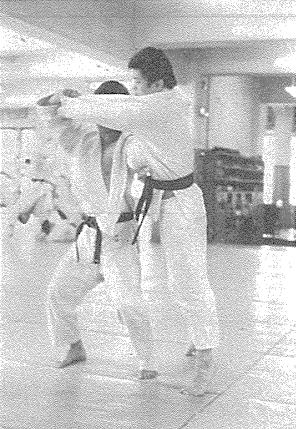
☎ 371-3722 代表

背
負
投

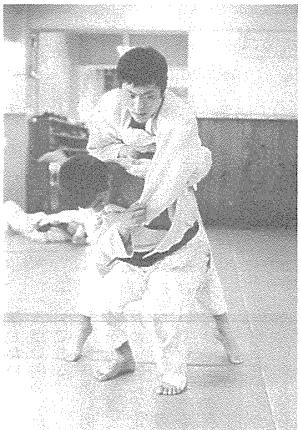
須磨周司



悪い例(1)



ふみ込み



良い例(2)



良い例(1)

私の背負投は釣込腰ぎみにかけ、腰の跳上げに重点をおいています。得意技は個人個人に特長があり、以下説明しますが、一つでも参考にしていただければ幸いです。

技の正しい形を覚えること、打込み練習を充分やることによつてその技に必要な筋力を養え、いつそう効果があがるものではないでしょうか。

▼背負投の解説

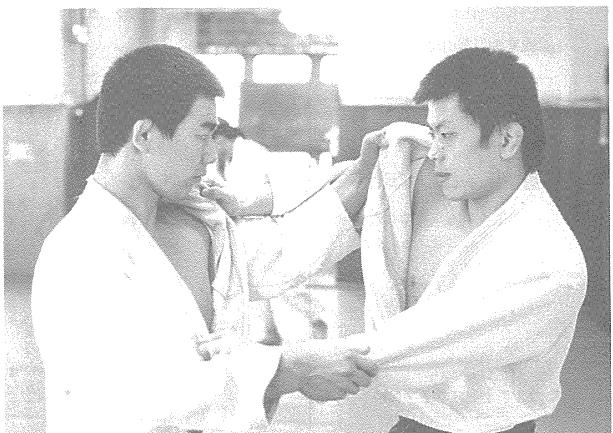
体全体で受を左前隅に崩し、手の甲または上腕にて相手の腕を上または斜め上にすばやく払い上げる。そして払いあげ動作の反動を利用して左足を受の左隅に移し、つま先の親指を軸にして、膝を充分に曲げて、すばやく回り込むのです。

〔注意〕

手を払うときには両膝とも落し、つま先だっていいないと、あと重心の移動がスムーズにいかない。左足は飛び込みすぎると間合が近すぎ、体が回り切る以前に相手にぶつかり、動作がとまる。

写真へ悪い例(1)／腰をおとしきているのと 重心が後の方にある。これではつぶされやすい。

写真へ良い例(1)／重心が前にきているが、もう少し腰を



手の払い方

足の位置

受右、取左

良い例①



受の右足の太ももに取の腰があるようにする。

悪い例②



両方の足の真中に取の腰があたるまで入ると、相手の体が密着しすぎます。従って左後に崩れやすい。

受左、取右

良い例④

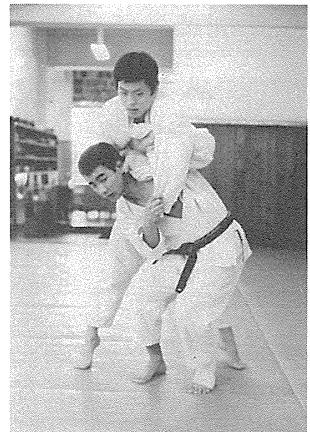


受の左足の太ももに取の腰があるようにする。

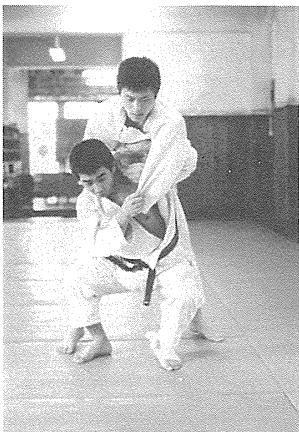
悪い例④



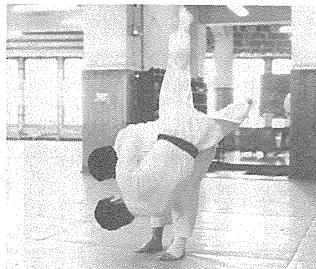
悪い例②と同じ



悪い例(3)



悪い例(2)



投げる方向

落したい。
△良い例(2)▽がベース
トである。
写真△悪い例(2)
膝を広げすぎている
ため腰が安定感がないことと、踵がついているので足腰が充分に生かされない。
写真△良い例(2)
膝を広げすぎている
ため腰が安定感がないことと、踵がついているので足腰が充分に生かされない。
写真△良い例(2)
膝を内側にすればめらし、踵もあがっていける。
写真△悪い例(2)
膝を広げすぎている
ため腰が安定感がないことと、踵がついているので足腰が充分に生かされない。

(筆者紹介) 第六回世界選手権大会、重量級チャンピオン、新日本鉄、本社勤務。
宮崎 敬一氏 東京都、江東区出身 (35年度卒)
35年度優勝のレギュラーとして活躍
取り：日田孝志三段、受け：今堀浩之二段 次号予定「足車」田中 章雄

おり、足も親指のほうに力が入っているのでバランスがとれ、理想的な姿勢かと思われる。この姿勢で力いっぱい腰で跳上げるのである。この様に入つておれば、相手が飛んで逃げようとしても、それよりもっと大きく腰を回すことが出来る。写真△悪い例(3)△この写真を見ますと腰にねじ込んでおり、また足の位置も悪く、受と体が密着しすぎているため、腰が充分伸ばされない姿勢である。投げる方向も取の左前隅に投げるようにし、あまり大きく投げようとしないで横転さす様な感じで投げる。
これ一連の動作のうち、足の位置も欠かすことの出来ない重要なことですので、上図の良い例と悪い例の足の位置に注意していただければ幸甚です。

計報通知

宮崎 敬一氏

東京都、江東区出身 (35年度卒)

全日本選手権大会にも出場。昨年から持病の糖尿病が悪化し肝臓病を併発。入退院をくりかえしていたが、3月に入り病状が悪化快ゆの願いもむなしく5月6日永眠された。

昭和57年11月 三宅秀男氏 (27卒) のご母堂様 喜化成鶴村本誠氏
昭和57年1月 小野瀬雅幸氏 (50卒) の御尊父様
昭和58年4月 中谷雄英氏 (39卒) の御尊父様
昭和58年5月 慎んで哀悼の意を表してご報告申し上げます。

住 所 変 更

○会報「明柔」'82年L号

| 卒 氏 名 | 〒 | 住 所 | (自)TEL | 勤 務 先 | (勤)TEL |
|----------|------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
| 23 細井 茂 | 001 | 札幌市北区新琴似 12条12-2-5 | 011 762-5096 | 住宅改良開発公社 札幌支店 | 011 221-6717 |
| 31 山崎富士雄 | 244 | 横浜市戸塚区戸塚3-12-19 | 045 891-0470 | | |
| 32 塚本 勝人 | 838 | 福岡県甘木市大字菩提寺 484-4-4 | 09462 4-7938 | 塚本食糧工業所 | 09462 2-2061 |
| 33 大輪 小次 | 336 | 埼玉県浦和市文蔵3-37-9 | 0844 61-6722 | 柔道整復師 | |
| 35 平島 征也 | | AV, Getulio Vargas 809, Savassi Belo HORIZONTE MINAS GERAIS BRAZIL | | | |
| 36 早瀬 勝義 | 422 | 静岡市八幡4-1-4 | 0542 82-9108 | 日本ビジネス コンサルタント静岡支店 | 0542 53-2723 |
| 36 渋谷 正久 | 145 | 大田区南雪ヶ谷5-14-6 | 03 720-0478 | 接骨院 | 03 733-0850 |
| 37 要原 英道 | 815 | 福岡市南区中尾2-39-26 | 092 552-0701 | 旭フーズ㈱ 福岡支店 | 092 721-7279 |
| 39 村井 正芳 | 671 -11 | 兵庫県姫路市広畠町小松町 小松 アパート12-7 | 0792 36-8560 | 新日鉄広畠 | |
| 39 野坂 良雄 | 227 | 横浜市緑区元石川町3712-3 | 045 902-1003 | 岩谷産業㈱ | 03 555-5627 |
| 43 黒田 基行 | | | 0956 22-8401 | 新日鉄本社 | |
| 44 姿 信夫 | 273 | 船橋市藤原町 1-171-A-5-101 | 0473 37-1910 | 中央競馬会 | 03 591-8541 |
| 46 岩田 久和 | 151 | 渋谷区初台2-24-15 新日鉄AP-22 | 03 370-1782 | | |
| 46 金谷 洋 | 655 | 神戸市垂水区塩屋町 5-17-1-102 | | | |
| 46 梶原 博見 | 061 -21 | 札幌市南区澄川6条3丁目 203-26 澄川団地7号404 | | 旭フーズ㈱ 札幌支店 | 011 241-4848 |
| 47 鮫島 俊隆 | 464 | 名古屋市千種区富士見台3-13 新日鉄富士見台社宅23号 | 052 711-7930 | 新日鉄 名古屋営業所 | 052 263-3313 |
| 48 加藤木祐司 | 300 -12 | 茨城県稲敷郡牛久町 3420-101 | | ちゃんこ「巴泻」 | |
| 49 安田 銀台 | 840 | 佐賀市本庄町袋南部 | 09522 24-9422 | 順興園 | 09522 26-5253 |
| 52 段上 道夫 | 131 | 墨田区京島1-25-4 曳舟 ダイヤモンドマンション | 03 208 616-0238 | 段上商店 | |
| 54 佐藤 忠司 | 320 | 栃木県宇都宮市若草町105-22 機動隊たいき祭 | | 栃木県警 | |
| 56 金子 泰夫 | 213 | 川崎市川崎区大師駅前1-14-4210 コ-ボ池上205 川上佳津子様方 | 044 299-2725 | | |
| 58 吉田 尚生 | | CENTRE SPORTIF de LOISIRS et d'ARTS MARTIAVX 47110 LE TEMPLE/LOT FRANCE | | | |

| 取 入 の 部 (円) | 支 出 の 部 (円) |
|------------------|------------------------------------------|
| 広 告 掲 載 料 利 息 | 890,000 2,112 |
| | 印 刷 代 郵 送 料 事 務 用 品 代 銀 行 振 込 料 |
| 合 計 | 892,112 |
| | 合 計 |
| | 差引残高 566,952 円 |

昭和58年4月28日
(敬称略)

| | | | |
|---------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 顧 問 | 菊 池 仁 本 静 根 夫 百 潤 入 次 江 松 瀬 藤 姿 節 | 京葉瓦斯㈱社長 東南貿易㈱社長 柔道部長明大教授 昭和2年度卒 昭和10年度卒 昭和16年度卒 昭和26年度卒 昭和29年度卒 | 明柔会新役員 |
| 会 長 | | | |
| 副 長 | | | |
| 幹 事 長 | ：神 田 和 夫 | 渡辺 欣嗣(29) 伊藤 義一(30) | 渡辺 政雄(29) 丸山 彰治(31) |
| 副幹事長 | ：工 藤 欣 一 | ：神永 昭夫(33) 渡辺 邦雄(34) 田中 章雄(36) | ：宮下 潔(33) 鳴海 誠一(35) 大國 伸夫(37) 細川 隆夫(38) 西村 良之(45) 重松 義成(47) 吉井 敬吉(47) |
| 幹 事 | | 押切 義春(29) 岩崎 勇(29) ：代田 正俊(44) 岩田 久和(46) 河田 恵吾(54) | ：鶴巣 政利(43) 中島 平人(44) 順慶 周司(43) 島海又八郎(48) 加瀬 次郎(51) 段上 道夫(52) 藤原 敏生(55) 渡辺 欣嗣(29) 高田 誠之(36) 印 常任 |
| 監査委員 | | 高田 誠之(36) 印 常任 | 。印 奨学金委員会委員 ○印 事務局 |
| 明柔会新会員 | | | |
| 細 井 茂 | (23年度卒) | 渋谷 正久 (36年度卒) | 渋谷 正久 (36年度卒) |
| 住所： | 札幌市北区新琴似12条12丁目2-5 | 大田区南雪ヶ谷5-14-6 | |
| TEL | (011) 762-5096 | (03) 720-0478 | |
| 職業： | 住宅改良開発公社札幌支店勤務 | 職業：渋谷接骨院 | |
| TEL | (011) 221-6717 | TEL (03) 733-0850 | |
| 早 潤 勝 義 | (36年度卒) | 安 田 銀 台 (49年度卒) | |
| 住所： | 静岡市八幡4-1-4 | 住所：佐賀市本庄町袋南部 | |
| TEL | (0542) 82-9108 | TEL (09522) 24-9422 | |
| 職業： | 日本ビジネスコンサルタント静岡出張所勤務 | 職業：飲食店(順興園)経営 | |
| TEL | (0542) 53 2723 | TEL (0542) 24-9422 | |



編集後記

「オイ、次は大丈
夫かい？」キチッと
続けることが大切な

なんじゃから」と姿先
生がしきりに心配し

ておられた。明柔'83

F号が、発行予定日をたがえず、しかもペー

ジ数を大巾にふやして刷り上りました。先ず
は御同慶の至りです。今回は前回にもまして
多くの皆さんから原稿を寄せいただきまし

た。御協力に感謝いたします。それ故に後
輩へ寄せる期待と、あたたかい心づかいを感じ
ながら、充実した気持で編集にあたること

が出来ました。

この不景気な折、前号にひき続き、又、新

規に、広告の掲載に応じてくれた諸兄に、心

から御礼申し上げます。会報発行の財源であ
る広告のお願いは、今後出来る限り情報?

を集め全国津々浦々のOBに呼びかけていく

方針です。

八百部たらずの発行部数であり、広告効果
も知れたものですが、消息を伝える名刺がわ
りと多いことで協力いただければ幸甚です。
又各号に賛同していただいている広告の他に、
他方面で柔道部に援助協力をいたしている

方々に感謝の意を表す形で、OBに贈呈する

「明柔」年二回発行(八十三年)
昭和五十八年六月二十五日発行

編集部 大戦力吉井君が、先日会社(東南

貿易團)の海外駐在員としてインドのコアに
赴任しました。彼のリタイアによって代田、

入江君(同社勤務)の等がより忙がしい思いを
することになります。三君は明柔会事務局の

総務も兼ており、その負担は並大抵のもので
はありません。ここで、あらためて御苦勞の

皆さんに謝意を表し、又、吉井君の住地での
活躍と安全を祈る次第です。

次号'83Jは十二月十五日を発行予定日
としてあります。

炎暑のみぎり、各位の御自愛と一層の御発

展を祈念し、編集後記といたします。

承下さいます。

雄和企画株式会社

代表取締役 田中 章雄

東京都港区東新橋1-2-11 三陸ビル
電話(03)572-2737代

東京都中央卸売市場大森市場
海老、塩干加工品問屋

海老晃

(31年卒)

代表取締役社長 滝本 满治

本社 東京都大田区大森本町2丁目2番10号
電話(764)2876

黒潮踊る多彩な海景……
ぜひ男鹿半島へ!!

男鹿グランドホテル

代表取締役 鈴木 実



秋田県男鹿市北浦湯本字中里81
TEL 0185-33-2151 代表

紳士・婦人・子供
各種

帽子のミヤシタ

(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9
新小岩銀座アーケード街
電話(651)0691

追記

掲載金額を五段階に分けて広告をお願いし
ておりますが、割付の都合上、まれに、申し
込みのものより大きいあつかいになる(例え
ばCランクの申し込みでDランクの大さき)

電 話 ○三一二九五一四八九
柔道部道場 ○三二二九五九〇三
八幡山合宿 ○三一七二一八六六一
目黒合宿 ○三一七二一八六六一

電 話 ○三一二九五六一四六
營業所 ○三一二九五九四八九
印刷所 ○三一二九五九四八九
工 場 ○三一九六七一九三
東京都千代田区神田三崎町二一
(二二)

電 話 ○三一二九五六一四六
營業所 ○三一二九五九四八九
印刷所 ○三一二九五九四八九
工 場 ○三一九六七一九三
東京都千代田区神田三崎町二一
(二二)

方々の広告も、御礼の意味から掲載しており
ますことをお断りしておきます。

承下さいます。

時があります。この場合イラストの有無や、
掲載個別の配慮でその差といいたしますので了



MEIJI UNV. JUDO CLUB
PERIODICALS

 共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売



有限公司 男鹿興業社

代表取締役 国 安 キ ョ
専務取締役 国 安 均



秋田県男鹿市船川港船川字化世沢178
TEL 0185-23-3293(代)